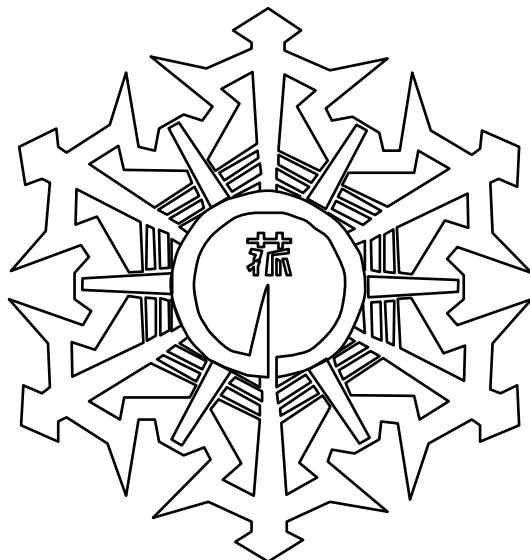


消防年報



三重県
菰野町消防本部
(令和5年版)

は　じ　め　に

本書は、菰野町における消防情勢と消防諸般の状況を記録し、
将来の消防行政運営上の指針とするために編集しました。
統計資料は特に記載のあるものを除き、令和4年中をもって
表しました。

令和5年8月

三重県 菰野町消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野町消防本部のあゆみ	2
令和4年中の主な行事	6
歴代消防長	
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算（当初額）	8
一般会計予算に占める消防費の割合（当初額）	
消防費に対する人口、世帯当たり額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別、階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員出動報酬	

消防団員職業別構成数 24

消防団消防車両配置状況

予 防

防火対象物現況 25

用途別建築同意状況 26

工事別建築同意状況 27

過去 5 年間の建築同意状況

危険物施設現況 28

危険物施設許可認可状況

各種届出処理状況 29

消防用設備等設置検査実施状況

広報、啓発活動状況 30

火 災

火災事案発生状況 31

過去 5 年間の火災事案発生状況

地区別火災発生状況 32

月別火災発生状況

曜日別火災発生状況

時間別火災発生状況 33

火災出動状況

火災出動区分詳細

火災発生状況及び出火原因状況 34

絵で見る火災原因 38

救 急、救 助

救急事案発生状況 39

過去 5 年間の救急事案発生状況

事故種別救急出動件数、搬送人員 40

現場到着所要時間別救急出動件数（覚知～現場到着）

収容所要時間別救急搬送人員（覚知～医療機関到着）

年齢区分別救急搬送人員	41
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	42
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	43
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	44
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	45
救助事案発生状況	46
過去 5 年間の救助事案発生状況	
事故種別、救助出動件数・救助人員	47
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	
救助出動状況	48
月別山岳救助出動状況	58
曜日別山岳救助出動状況	
時間別山岳救助出動状況	

気 象、通 信、その他の

月別気象状況と火災件数	59
月別気温概況	60
月別降水量概況	
月別湿度概況	61
月別風速概況	
気象通報受信状況	62
三重北消防指令センター119 番通報受付取扱状況	63
菰野町消防本部管内月別 119 番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別 119 番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	64

消防情勢



危険物安全週間の取組みとして、危険物施設の協力により特別消防訓練を実施しています。危険物安全週間とは、毎年 6 月の第 2 週に全国的に危険物の保安意識の高揚と啓発を推進しています。

危険物安全週間特別消防訓練
令和 4 年 5 月 23 日
於：一宮運輸株式会社

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県、北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす渓谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かなくらしが循環するまち」

「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのがことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位 置／北 緯

35° 01' 43" (世界測地)

東 経 136° 30' 25"

● 人 口／41,189 人

(令和5.3.31現在)

● 面 積／107.28 km²

● 世帯数／17,126 世帯

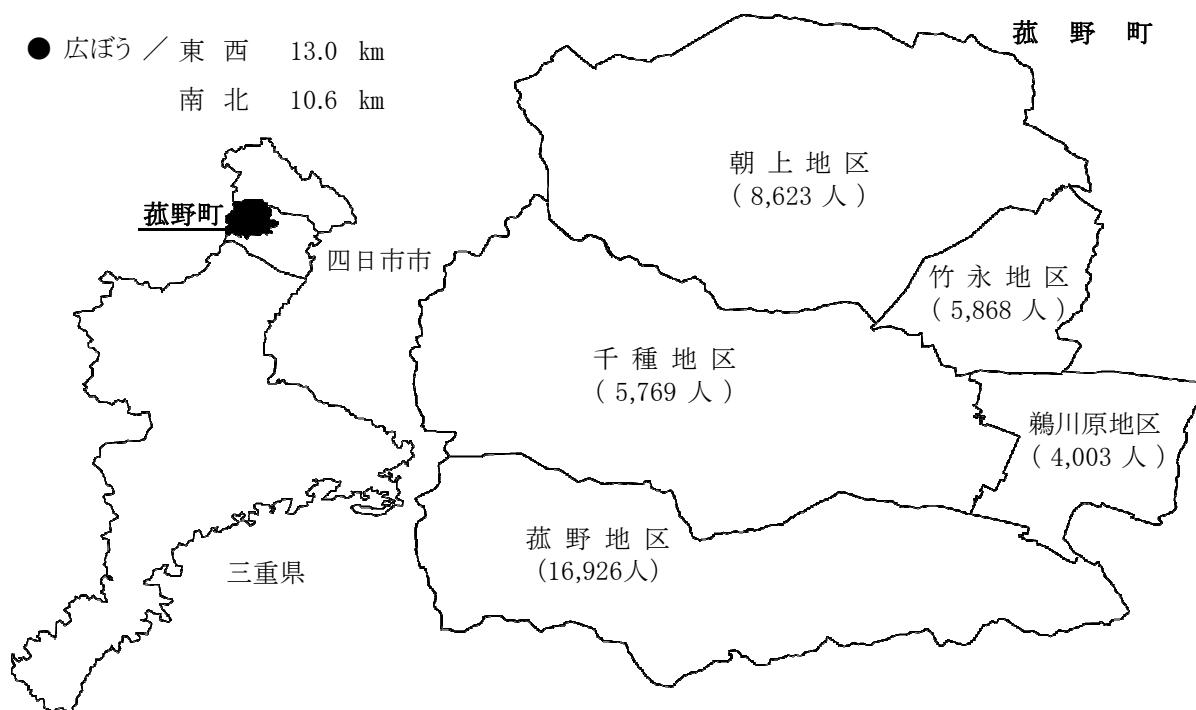
(令和5.3.31現在)

● 海 抜／御 在 所 岳 1,212 m (最高地)

役場(本庁舎) 77.1 m

● 広 ば う／東 西 13.0 km

南 北 10.6 km



菰野町消防本部のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工
8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入
11. 19 普通貨物自動車購入

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車（30m級）購入
10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年(1989)

1. 24 救急車（2B型）購入
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 茷野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 (社) 日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 茷野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 茷野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出席する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣（3年間）
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水－ⅠA型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車（Ⅱ型）購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 茗野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入

平成27年(2015)

1. 31 資機材搬送車購入
4. 1 救命サポート事業開始
4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
8. 26 消防支援隊発足（35名）
11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

4. 1 三重北消防指令センター運用開始
4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣（3年間）
7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（I型）購入
3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年(2021)

3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年(2022)

1. 11 水槽付ポンプ車（II型）購入
3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和4年中の主な行事

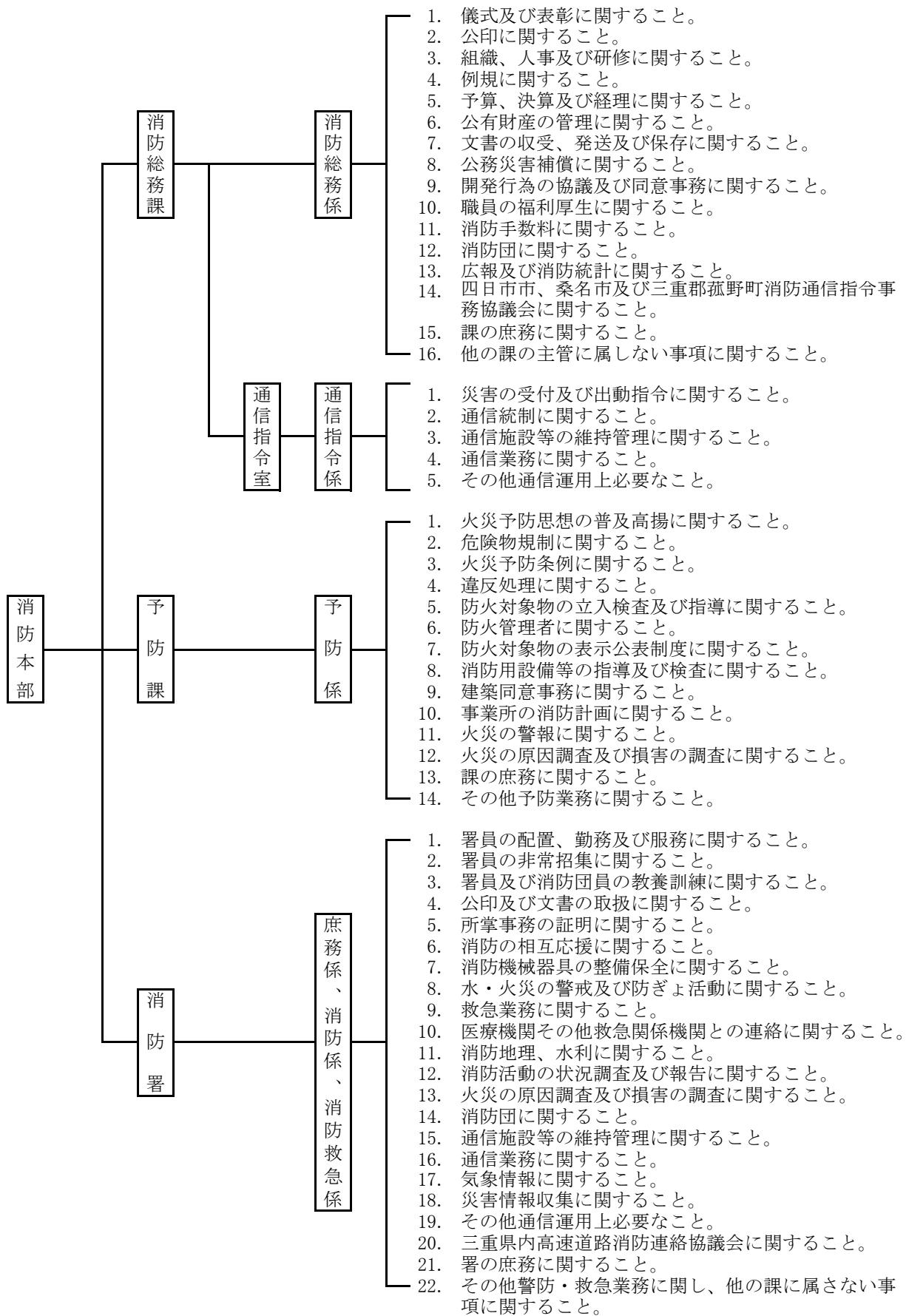
1. 9	消防出初式
1. 21	文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔シデコブシ群落〕
2. 25	春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔イオンタウン菰野〕
2. 27	防火広報〔中止〕
3. 1～3. 7	春の火災予防運動
4. 3	消防辞令交付式
5. 23	危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔一宮運輸株式会社〕
5. 24	菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕
5. 29	菰野町水防訓練〔三滝川河川敷〕
6. 5～6. 11	危険物安全週間
6. 26	菰野町消防団操法大会〔消防本部〕
7. 30	消防救助技術東海地区指導会〔愛知県名古屋市 イオンモール熱田〕
8. 26	全国消防救助技術大会〔東京都立川市〕
8. 28	菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔中止〕
8. 30～9. 5	防災週間
9. 1	防災週間に伴う特別消防訓練〔ホテル湯の本〕
9. 4～9. 10	救急医療週間
9. 24～25	消防自動車写生大会〔消防本部〕
10. 21	三重県消防職員警防技術交換会〔消防学校〕
11. 9～11. 15	秋の火災予防運動
11. 13	秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔八風スポーツ公園〕
12. 28～12. 30	年末特別警戒〔町内一円〕

歴代消防長

初代	大倉 二郎	自 昭和60年 4月 1日	至 昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自 昭和61年 4月 1日	至 平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自 平成 3年 4月 1日	至 平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自 平成 7年 4月 1日	至 平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自 平成11年 4月 1日	至 平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自 平成13年 4月 1日	至 平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自 平成16年 4月 1日	至 平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自 平成18年 5月 1日	至 平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自 平成19年 4月 1日	至 平成21年 3月31日
十代	内田 真伸	自 平成21年 4月 1日	至 平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自 平成25年 4月 1日	至 平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自 平成30年 4月 1日	至 令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自 令和 3年 4月 1日	現在に至る

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 5. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

区分 年度	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
令和元年度	498,958	40,829	88,139	50	627,976
令和2年度	536,732	40,864	77,013	50	654,659
令和3年度	535,782	39,326	135,414	50	710,572
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536
令和5年度	551,542	40,502	70,597	50	662,691

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

区分 年度	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率(%)
令和元年度	12,870,000	627,976	4.9
令和2年度	13,460,000	654,659	4.9
令和3年度	13,310,000	710,572	5.3
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9
令和5年度	13,660,000	662,691	4.9

消防費に対する人口、世帯当り額

区分 年度	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
令和元年度	41,738	16,461	627,976	15	38
令和2年度	41,610	16,666	654,659	16	39
令和3年度	41,670	16,903	710,572	17	42
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39
令和5年度	41,189	17,126	662,691	16	39

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消防ポンプ自動車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消防ポンプ自動車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化学消防自動車	1		0	△ 1
	救急自動車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救助工作車	1	救助工作車	1	0
	指揮車	1	指揮車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較
	消防ポンプ自動車(1)	5人×3部制=15人	69	40	△ 29
	消防ポンプ自動車(2)	4人×3部制=12人			
	救助工作車	5人×3部制=15人			
	救急自動車(1)	3人×3部制=9人			
	救急自動車(2)	3人×3部制=9人			
	指揮車	3人×3部制=9人			
	救急自動車(3)	(兼務運用)			
	はしご付き消防自動車	(乗換運用)			
	化学消防自動車【未配備】				
通信員			3	3	0
予防要員			5	5	0
その他の人員			4	8	4
合 計			81	56	△ 25

令和5.4.1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 5. 4. 1現在

所属 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防長、消防本部	1	1					2
消防本部消防総務課		4	3	1		2	10
消防本部予防課		2		2	1		5
消防署		2	12	6	7	11	38
町部局				1			1
合 計	1	9	15	10	8	13	56

職員階級別勤続年数状況

令和 5. 4. 1現在

勤続年数 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満						2	2
1年						3	3
2年						2	2
3年						3	3
4年							
5年					3	2	5
6年					1		1
7年		1				1	2
8年					2		2
9年					1		1
10年				2	1		3
11年							
12年				1			1
13年							
14年				1			1
15年				1			1
16年				1			1
17年				1			1
18年							
19年			1	1			2
20年			1				1
21年			1				1
22年		1	1	1			3
23年							
24年			2				2
25年			2				2
26年			3				3
27年							
28年							
29年		2	3				5
30年			1				1
31年		1					1
32年							
33年							
34年							
35年		2					2
36年							
37年							
38年	1	2		1			4
合 計	1	9	15	10	8	13	56

職員階級別年齢状況

令和 5. 4. 1現在

年齢 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
18歳							
19歳						1	1
20歳						3	3
21歳						2	2
22歳						1	1
23歳						1	1
24歳						1	1
25歳						3	3
26歳						1	1
27歳					3		3
28歳					2		2
29歳							
30歳					1		1
31歳					2		2
32歳				1			1
33歳				1			1
34歳				2			2
35歳							
36歳				2			2
37歳				2			2
38歳			1				1
39歳							
40歳				1			1
41歳			2				2
42歳			1				1
43歳							
44歳			1				1
45歳			1				1
46歳			1				1
47歳			3				3
48歳			2				2
49歳			1				1
50歳			2				2
51歳		2					2
52歳							
53歳		2					2
54歳		1					1
55歳							
56歳							
57歳		1					1
58歳	1	3					4
59歳							
60歳							
61歳							
62歳					1		1
合 計	1	9	15	10	8	13	56

平均年齢 38.1 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和5.4.1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21m ²)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7m ²	114.4m ²	39.4m ²	38.6m ²	87.6m ²	53.4m ²
延床面積	858.4m ²	226.8m ²	129.6m ²	94.3m ²	175.2m ²	53.4m ²
1 F	528.1m ²	113.4m ²	32.4m ²	32.7m ²	87.6m ²	53.4m ²
2 F	309.3m ²	113.4m ²	32.4m ²	32.7m ²	87.6m ²	
3 F	(P.H) 21.0m ²		32.4m ²	28.9m ²		
4 F			32.4m ²			

現有消防車両

令和5.4.1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両総重量(kg)	免許区分
はしご車	日野	30m級	三重800は1877	H26.3.19	8,860	19,120		大型
救助工作車	日野	II型	三重800は1347	H20.3.13	7,680	12,000		大型
水槽付ポンプ車	日野	水-II型 (災害対応)	三重830す2201	R4.1.7	5,120	11,700		大型
小型動力ポンプ付水槽車	日野	I型	三重830と2002	R2.2.27	5,120	12,655		大型
ポンプ車	日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26.12.4	4,000	6,755		準中型
救急1号車	日産	高規格 (災害対応)	三重830す1711	H29.11.17	3,490	3,385		普通
救急2号車	日産	高規格	三重830せ1511	H27.11.17	3,490	3,395		普通
救急3号車	日産	高規格	三重800す7167	H22.12.2	3,490	3,235		普通
査察車	トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20.12.11	1,980	2,100		普通
広報車	トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24.12.27	2,690	2,670		普通
資機材搬送車	いすゞ	2t 積	三重800せ 127	H27.1.29	2,990	4,905		準中型
事務連絡車	トヨタ	ワゴン	三重500ゆ8563	H15.5.22	1,990	1,920		普通

通信施設状況

令和 5. 4. 1現在

種類		数量	備考
車載移動無線局 （デジタル）	12局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6	菰野町消防本部、消防署
携帯移動無線局 （デジタル）	16局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6	
消防団車載移動無線局 （デジタル）	11局	菰野波2、消防団波	
消防団携帯移動無線局 （デジタル）	11局	菰野波2、消防団波	
半固定無線局 （デジタル）	4局	こもの200【卓上型】こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】役場災害対策室設置 菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6	
消防救急デジタル無線基地局 （活動波）	1局	活動波：みえきたしれいこもの（菰野波1～2） 【通信所】こものしょうぼう	
三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波（菰野中継所）	1局	みえきょうつうこもの（主運用波、統制波1～3） 【通信所】こものしょうぼう	
三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局	
携帯移動無線局 （署活動用携帯型）	36局	こもの310～339、341～343、こもの300～302 署活1～2、消防団波	
デジタル簡易無線局 （携帯型）	15台		
車両運用端末装置Ⅲ型 （AVM）	11台	ドコモFOMA回線	
職員募集メール発信システム	1式		
菰野町行政情報メール発信システム	1式		
指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用	
駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用（玄関前に設置）	
一般加入電話	2回線 4ch		
F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用	
救急車積載携帯電話	5台		
携帯電話	3台	本部1、署2	
ドローン通信用資機材	1台		
報知電話（119）	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話	三重北消防指令センター
F A X 1 1 9	1台		
N e t 1 1 9	2台		
119番映像通報システム	1式		
順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動	
消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTひかりにより同時に3回線受信可能	
指令メール	1式	火災指令メール	
多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳	
ケーブルテレビ消防情報	1ch		

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部及び桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 5. 4. 1現在

地区		菰野	鶴川原	竹永	朝上	千種	合計
消火栓	管 径 50 mm 以下	5		1		2	8
	管 径 75 mm	172	81	101	123	112	589
	管 径 100 mm	151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以上	160	63	37	85	82	427
	合 計	488	188	177	321	271	1,445
防火水槽	容 量 20 m ³ 未 満	3		2	7	2	14
	容 量 20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満	21	3	7	12	4	47
	容 量 40 m ³ 以 上	4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³	7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³	1	1	1	1	1	5
	プ 一 ル	4	1	1	2	1	9
	合 計	40	7	13	27	18	105
自然水利	河 川	52	17	13	74	63	219
	池	8	2	3	16	11	40
	合 計	60	19	16	90	74	259

各種研修実施状況

区分		延 時 間	延 人 数	回 数
内 容	区 分			
実 務 法 規		4	32	3
地 球 及 び 水 利		39	40	13
火 灾 予 防		133	311	84
気 象		21	13	3
勤 務 要 綱		112	248	69
消 防 行 動		26	145	18
消 防 戰 術		53	148	27
消 防 機 械		350	1,465	292
消 防 操 法		70	166	22
実 施 訓 練		1,251	3,092	519
訓 練 礼 式		17	130	10
救 急 学		1,389	1,021	348
体 育		95	2,885	328

外部研修等派遣状況

令和4年度

区分 派遣	科 目	期 間	人員
救急救命士研修所	救急救命士新規養成研修（東京研修所第63期）	R4. 9. 12～R5. 3. 13	1
消防 大 学 校	新任教官課程（第16期）	R5. 3. 2～R5. 3. 14	1
消 防 学 校	初任科（第59期）救急課救急課程（第25期）	R4. 4. 11～R4. 12. 8	3
	気管挿管フォローアップ研修	R4. 6. 16	2
	救助科 救助課程（第32期）	R4. 9. 6～R4. 10. 7	1
	特別科 はしご自動車講習（第25期）	R4. 12. 12～R4. 12. 15	1
	特別科 指揮課程（第10期）	R4. 12. 19～R4. 12. 23	1
	危険物科 危険物課程（第18期）	R5. 1. 16～R5. 1. 20	1
	警防科 警防課程（第34期）	R5. 1. 23～R5. 2. 3	1
	予防査察科 予防査察課程（第10期）	R5. 2. 6～R5. 2. 17	1
	特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習	R5. 2. 13～R5. 2. 15	3
警 防	JTF FFSレベル1	R4. 11. 25～R4. 11. 26	1
救 急	ICLSコース（心肺蘇生二次救命処置研修）	R4. 5. 29	1
	MCLSコース（多数傷病者対応研修）	R4. 6. 25	1
	PEMECコース（救急隊員による疾病的観察処置の標準化）	R4. 7. 15	1
	ISLSプロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	R4. 9. 19	1
	新生児蘇生法講習会Pコース・病院前コース	R4. 9. 23・R4. 10. 22	2
	三重県臨床工学セミナー初級心電図	R4. 9. 25	1
	救急コ・メディカルセミナー	R4. 10. 28	1
	PCECコース（意識障害病院前救護研修）	R4. 11. 30	2
	JPTECプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R4. 12. 17・R5. 3. 12	2
	全国救急隊員シンポジウム	R5. 1. 26～R5. 1. 27	1
救 助	全国山岳遭難対策協議会	R4. 7. 15	1
	アリゾナボーテックスフレーム講習	R4. 7. 26～R4. 7. 27	1
	テクニカルロープレスキューテクニシャン	R4. 11. 3～R4. 11. 5	1
	全国消防救助シンポジウム	R4. 11. 15	1
	アドバンスドロープレスキューII	R4. 12. 15	1
	積雪期登山基礎講習会	R5. 2. 10～R5. 2. 12	1
予 防	危険物施設の鋼製地下タンク等に適用する電気防食等講習（web）	R4. 4. 26	1
	違反是正研修会	R4. 8. 26	2
	火災調査研究発表会	R4. 10. 11	2
	消防法令違反是正事例発表会	R4. 10. 20	1
	消防用設備等保守点検業務研修会	R4. 11. 16	1
	火災科学セミナー（DVD）	R4. 12. 1	1
	火災原因調査研修	R4. 12. 6	2
	消防及び警察機関事故原因究明技術研修会（web）	R4. 12. 8	1
	消防法令違反是正事例研究会	R5. 1. 20	1
	企業防災対策指導研修会	R5. 2. 1～R5. 2. 28	1
通 信 指 令	危険物規制事務担当者説明会（web）	R5. 2. 6～R5. 2. 17	1
	危険物事事故例セミナー（web）	R5. 3. 1～R5. 3. 31	1
そ の 他	第5回通信指令シンポジウム	R5. 2. 4	1
	伐木等の業務にかかる特別教育講習	R4. 6. 29～R4. 7. 1	1
	大型自動車免許取得	R4. 7. 1～R4. 11. 4	2
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	R4. 8. 17～R4. 8. 19	1
	緊急自動車運転者プロフェッショナルコース	R4. 12. 12～R4. 12. 13	1

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

区分 年度	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
平成29年度	17	671	45	577	3	17
平成30年度	8	172	40	541	3	22
令和元年度	16	249	37	480	2	11
令和2年度	3	37	12	66	6	26
令和3年度	1	20	21	74	2	3
令和4年度	12	270	24	178	2	2
合 計	328	11,745	851	11,753	48	509

自主防災組織

令和 5. 4. 1現在

(1) 婦人消防隊	菰野地区婦人消防隊	(昭和43年4月21日結成 362人)
	鵜川原地区婦人消防隊	(昭和40年3月20日結成 74人)
	竹永地区婦人消防隊	(昭和58年6月 1日結成 71人)
	朝上地区婦人消防隊	(昭和42年4月 1日結成 139人)
	千種地区婦人消防隊	(昭和57年4月21日結成 156人)

合計 5隊 総員 802 人

(2) 自警団

合計 32団 総員 678 人

菰野地区	神	明	区	(12 人)
	菰	第	区	(37 人)
	宿	第	区	(142 人)
	福	野	区	(18 人)
	神	村	区	(10 人)
		森	区	(14 人)

計 6団 総員 233 人

鵜川原地区	大	強	原	(14 人)
	下	村	区	(15 人)
	川	北	区	(15 人)
	池	底	区	(12 人)
	吉	沢	区	(10 人)
	諫	訪	区	(9 人)

計 6団 総員 75 人

竹永地区	竹	成	区	(11 人)
	永	井	区	(37 人)

計 2団 総員 48 人

朝上地区	榎	涛	園	(13 人)
	松	島	区	(13 人)
	小	新	区	(17 人)
	田	田	区	(20 人)
	口	山	区	(23 人)
	美	口	区	(9 人)
	田	丘	区	(26 人)
	日	畠	区	(5 人)
	切	木	团	(9 人)
	一	本	地	(8 人)

計 10団 総員 143 人

千種地区	千	草	区	(18 人)
	音	羽	区	(10 人)
	潤	田	区	(34 人)
	三	滝	園	(42 人)
	岡	松	区	(12 人)
	福	郷	区	(17 人)
	奥	野	区	(10 人)
	江			(36 人)

計 8団 総員 179 人

緊急避難所

令和 5. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民衆会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏 訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
櫛	櫛公会所	大字櫛303		16
松 涛 園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田 口 新 田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公会所	大字田口2493		56
日 丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畠公会所	大字切畠578-8		12
根 の 平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公会所	大字櫛895-44		24

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千 草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音 羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤 田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三 滝 園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福 松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥 郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江 野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人数=有効スペース3m²×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝 上 地 区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千 種 地 区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人数=有効スペース(和室) 3m²×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝 上 地 区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人数=体育館等3m²×1人

収容避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園 菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鵜 川 原 地 区	鵜川原幼稚園 鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝 上 地 区	朝上幼稚園 朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園、幼稚園等である。

消防団



新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった操法大会。この大会は、定められた要領に従い、各消防団がいかに早くかつ正確に消防車からの放水を行うかを競うものです。

消防団操法大会
令和4年6月26日
於：菰野町消防本部

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平時には火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

令和4年中における主な活動は、火災件数13件の内、消防団の出動は11回、延べ出動人員365人。

その他、出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鵜川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鵜川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鵜川原分団、竹水分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和41年 7月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和43年 1月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 4月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 6年10月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 2月	三重県消防操法大会に鵜川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に竹水分団が出場し、準優勝する。
平成18年 7月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成26年11月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
令和 2年 3月	

歴代消防団長(合併以降)

初代 服部 幸太郎	自 昭和32年 1月 15日	至 昭和52年 4月 1日
二代 伊藤 正一	自 昭和52年 6月 15日	至 昭和55年12月31日
三代 谷 善一	自 昭和56年 1月 1日	至 昭和58年12月31日
四代 遠 収	自 昭和59年 1月 1日	至 平成 7年 2月28日
五代 白木 一	自 平成 7年 3月 1日	至 平成17年 3月31日
六代 小林 幸治	自 平成17年 4月 1日	至 平成29年 3月31日
七代 増田 富雄	自 平成29年 4月 1日	至 平成29年11月21日
八代 服部 卓美	自 平成30年 1月 1日	現在に至る

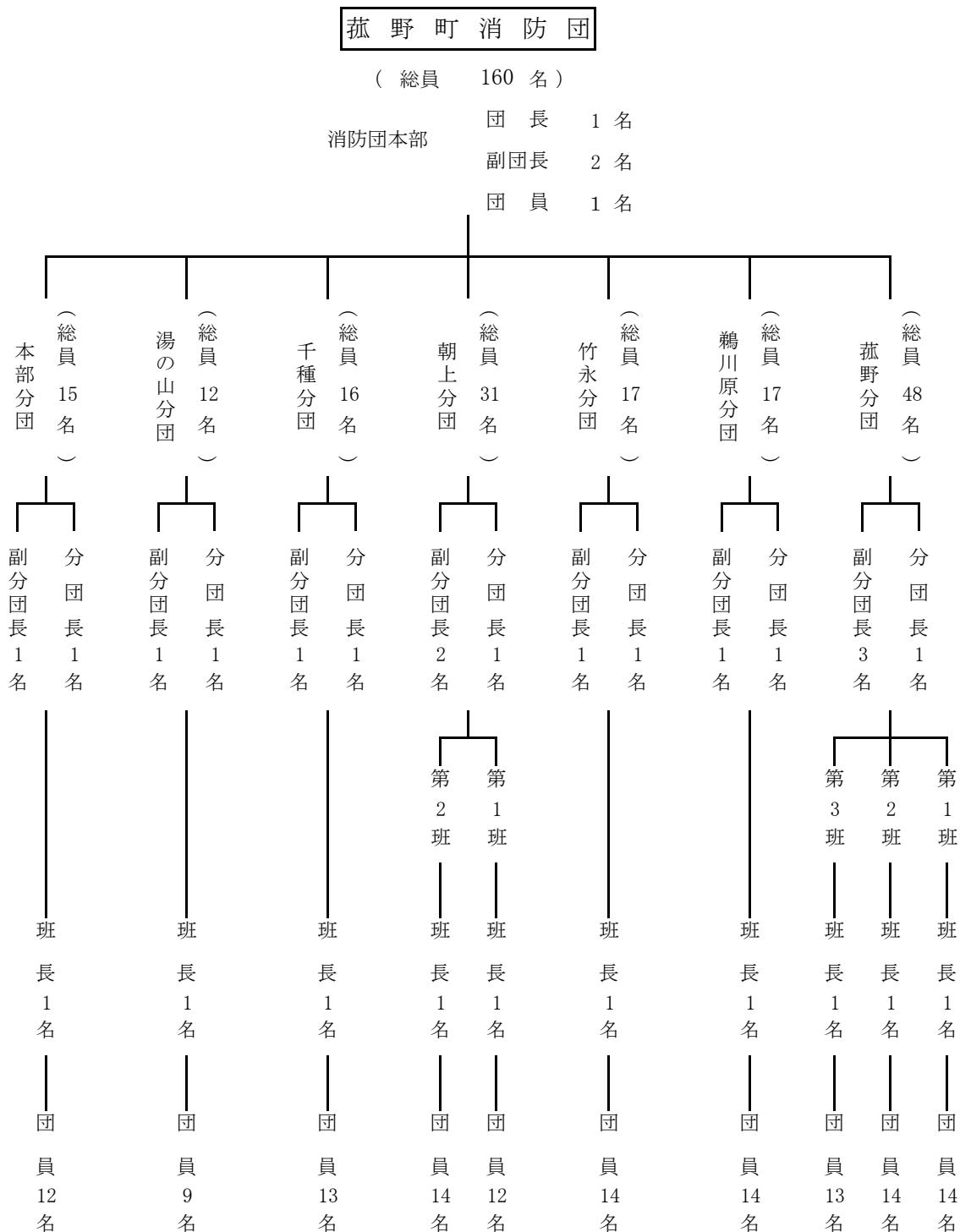
消防団の機構、団員数

令和 5. 4. 1現在

菰野町消防団 分 団 数 7分団(10班)

団員定数 168名

現有団員数 160名



年齢別、階級別消防団員数

令和 5. 4. 1現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
18歳～20歳						1	1
21歳～25歳						13	13
26歳～30歳						38	38
31歳～35歳				3	4	37	44
36歳～40歳			2	2	4	27	35
41歳～45歳			1	5	1	9	16
46歳～50歳			4		1	3	8
51歳～55歳							
56歳～60歳		1				2	3
61歳～65歳	1	1					2
合計	1	2	7	10	10	130	160

平均年齢 34.8 歳

在職年数別消防団員数

令和 5. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
団員数	48	48	36	17	5	1	5	160

消防団員報酬

令和 5. 4. 1現在

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員
年間報酬額(円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員出動報酬

令和 5. 4. 1現在

項目	災害出動	訓練	警戒	ポンプ点検等	車両検査	立入検査
1日当たりの報酬(円)	8,000	2,000	1,000	700	700	5,000

※災害出動については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成数

令和 5. 4. 1現在

職業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	14	94	37	15	160

消防団消防車両配置状況

令和 5. 4. 1現在

区分 分団名	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4,770	4,460	準中型
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2,990	4,730	準中型
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4,770	4,320	準中型
鵜川原分団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2,990	4,620	準中型
竹永分団	日野	CD-I	三重830さ4047	R 4. 2. 10	4,000	4,750	準中型
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2,990	4,440	準中型
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4,770	4,690	準中型
千種分団	いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4,570	4,410	準中型
湯の山分団	いすゞ	CD-I	三重830な1212	R 5. 3. 13	2,990	4,950	準中型
本部分団	いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2,990	4,900	準中型
団本部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2,480	3,220	普通
	トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2,980	3,160	普通
	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1,590	1,735	普通

※付積=小型動力ポンプ付積載車

防災



防災週間の一環として、毎年特別消防訓練を実施しています。消火器などの防災グッズは置いてあるだけでは、意味がありません。正しい使用方法を知り、定期的に点検を行い、常に使用できる状態にしておく事が大切です。

防災週間に伴う特別消防訓練
令和4年9月1日
於：ホテル湯の本

予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途		令和5.4.1現在			令和4.4.1現在		
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計
1	イ 創劇、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ 公会堂又は集会場	38		38	37		37
2	イ キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ 遊技場 ダンスホール	4		4	4		4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ カラオケボックス等	1		1	1		1
3	イ 待合、料理店						
	ロ 飲食店	38		38	39		39
4	百貨店、マーケット又は店舗	65		65	62		62
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	21	10	31	25	10	35
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	256	15	271	256	15	271
6	イ 病院、診療所又は助産所	17	2	19	17	2	19
	ロ 老人短期入所施設等	18	4	22	18	4	22
	ハ 老人デイサービスセンター等	25		25	28		28
	ニ 幼稚園又は特別支援学校				1		1
7	小学校、中学校、高等学校、各種学校	37	2	39	38	2	40
8	図書館、博物館、美術館	4		4	5		5
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ イ以外の公衆浴場	3		3	4		4
10	車両の停車場	2		2	2		2
11	神社、寺院、教会	40		40	38		38
12	イ 工場又は作業場	176	6	182	176	6	182
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ 自動車庫又は駐車場	20		20	21		21
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14	倉庫	108	3	111	101	3	104
15	前各項に該当しない事業場	133	4	137	130	4	134
16	イ 特定複合用途防火対象物	44	1	45	44	1	45
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	25	3	28	24	3	27
合 計		1,075	50	1,125	1,071	50	1,121

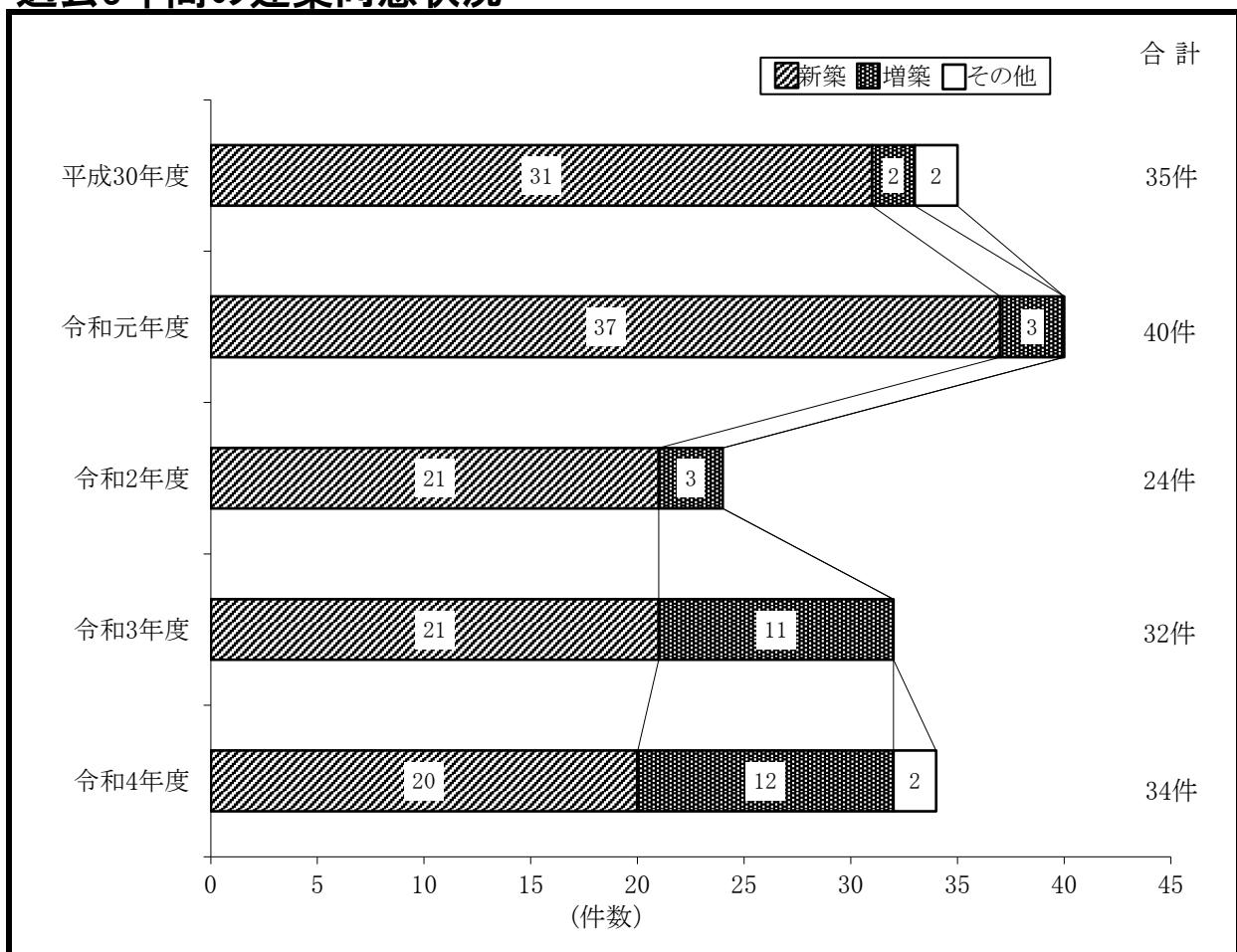
用途別建築同意状況

用 途		月 别	月 别												4年度 合 計	3年度 合 計
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場														
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ														
	ロ	遊技場 ダンスホール														
3	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合、料理店														
	ロ	飲食店											1	1	2	
4		百貨店、マーケット又は店舗														4
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所														
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅								1			1	2	1	
6	イ	病院、診療所又は助産所														1
	ロ	老人短期入所施設等														1
6	ハ	老人デイサービスセンター等										1	1	2	2	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校														
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校				1					1				2	
8		図書館、博物館、美術館														
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場														
10		車両の停車場														
11		神社、寺院、教会						1							1	1
12	イ	工場又は作業場			1	2		1	2	1		2	1	1	11	7
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
13	イ	自動車車庫又は駐車場														
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14		倉庫					1								1	2
15		前各項に該当しない事業場				2					1		1	1	5	5
16	イ	特定複合用途防火対象物														1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物														1
その他		住宅		2	3	1	1				1				8	1
		その他									1				1	3
合 計				2	5	5	3	2	2	2	3	3	3	4	34	32

工事別建築同意状況

工事種別 区分	新築	増築	改築	用途変更	その他	令和4年度合計	令和3年度合計
同 意	20	12			2	34	32
不 同 意							
合 計	20	12			2	34	32

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

区分 製造所等の別		製 造 所	貯 �藏 所							取 扱 所					令和 4 年度合計	令和 3 年度合計		
			小 計	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	第一 種 販 売	第 二 種 販 売	一 般			
倍 数 別	検査済施設数	1	117	33	17	4	33	2	24	4	57	15	18		1	23	175	176
	5倍以下		54	12	4	4	21	2	9	2	12		2			10	66	69
	5倍超10倍以下		20	1	8		9			2	6		1			5	26	23
	10倍超50倍以下	1	21	6	4		3		8		24	2	15		1	6	46	47
	50倍超100倍以下		5		1				4		4	2				2	9	10
	100倍超150倍以下		7	4					3		2	2					9	9
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		6	6							7	7					13	12
	1,000倍超		2	2													2	2
類 別	第 1 類		1	1													1	1
	第 2 類																	
	第 3 類																	
	第 4 類	1	115	31	17	4	33	2	24	4	57	15	18		1	23	173	174
	第 5 類		1	1													1	1
	第 6 類																	
	混 在																	

危険物施設許可認可状況

区分 製造所等の別	許 可				完 成 檢 査				仮使用承認			廃 止 届		
	設 置		変 更		設 置		変 更							
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
製 造 所														
貯 藏 所	屋 内	4	1	1		3	1						1	1
	屋外タンク				1			1				1		
	屋内タンク												3	
	地下タンク												1	
	簡易タンク	1				1								
	移動タンク													1
	屋 外	1				1							1	1
取 扱 所	給 油		1		2		1		2		1	1		
	第一種販売													
	第二種販売													
	一 般		1	4	12				5	11	4	11		
合 計		6	3	5	15	5	2	6	13	4	13	7		3

各種届出処理状況

区分	件数		区分	件数	
	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
防 火 管 理 者 選 解 任 届	77	53	蓄 電 池 設 備 設 置 届	4	17
消 防 計 画 書	82	66	ネオング 管 灯 設 備 設 置 届		
消防用設備等点検結果報告書	301	300	水素ガスを充てんする気球設置届		
液化石油ガス等貯蔵取扱届	19	19	少 量 危 險 物 貯 蔵 取 扱 届	11	18
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	44	34	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	4	4
消 防 訓 練 実 施 届	168	165	毒 物 、 劇 物 貯 蔵 取 扱 届	1	
炉 設 置 届			火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	112	90
ボイラー設備等設置届	11	10	煙 火 (打 上 げ 、 仕 掛 け) 届	5	
発 電 設 備 設 置 届	2	4	消 防 用 設 備 着 工 届	56	44
変 電 設 備 設 置 届	6	28	消 防 用 設 備 等 設 置 届	52	54
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	25	29	露 店 等 の 開 設 届	19	3

消防用設備等設置検査実施状況

区分	件数	
	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度
検査済証	37	25

広報、啓発活動状況

令和4年度

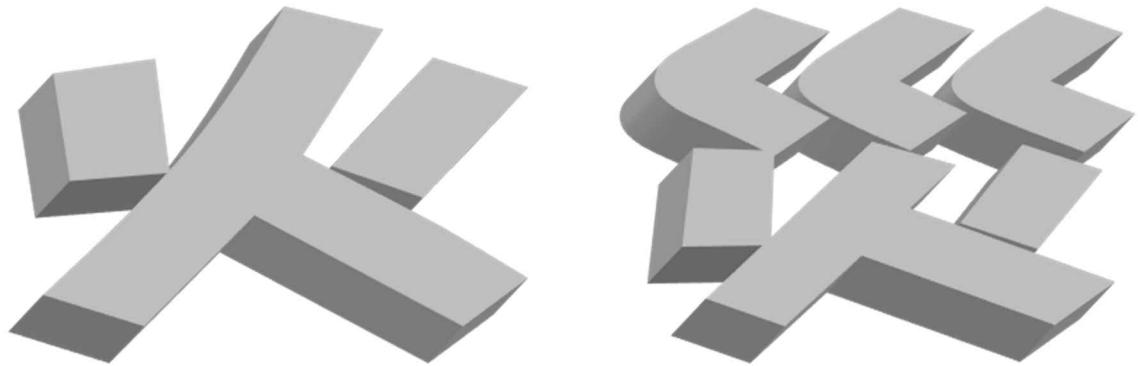
区分	回数等	延べ対象者数等
消防広場（菰野町文化祭）	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
庁舎見学	5回	396人
訓練指導	22回	1,584人
一人暮らし高齢者防火訪問	※防火訪問は、一人のみ実施。その他は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため防火訪問は中止し、対象者に防火パンフレットを配付	
巡回広報	11回	町内全域
防火だよりの発刊	2回	27,700部
写生大会	1回	38人
防火書道コンクール	1回	437人
広報印刷物等	ポスター	950枚
	チラシ	400枚
	広報こもの	84,600部
	お知らせ版	154,000部
その他	のぼり	28日間 120本
	懸垂幕	21日間 3枚
	横断幕	28日間 10枚
	防災ラジオ放送	15回 12,332台

【令和5年度全国統一防火標語】

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

【令和5年度危険物安全週間推進標語】

「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」



総務省消防庁によると令和3年の総出火件数は35,222件でした。これは、およそ1日あたり96件の火災が発生したことになります。

消防本部では、消防職団員の火災防ぎよ技術及び連携活動の向上を図る目的で、毎年11月に秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練を行っています。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練
令和4年11月13日
於：八風スポーツ公園

火 災

令和4年中は13件の火災が発生し、これら全火災での損害額は20,486千円でした。

火災件数は前年に比べて1件減少し、建物火災については昨年の5件から4件、車両火災は昨年の3件から1件に減少しましたが、林野火災では、昨年の0件から2件に増えています。

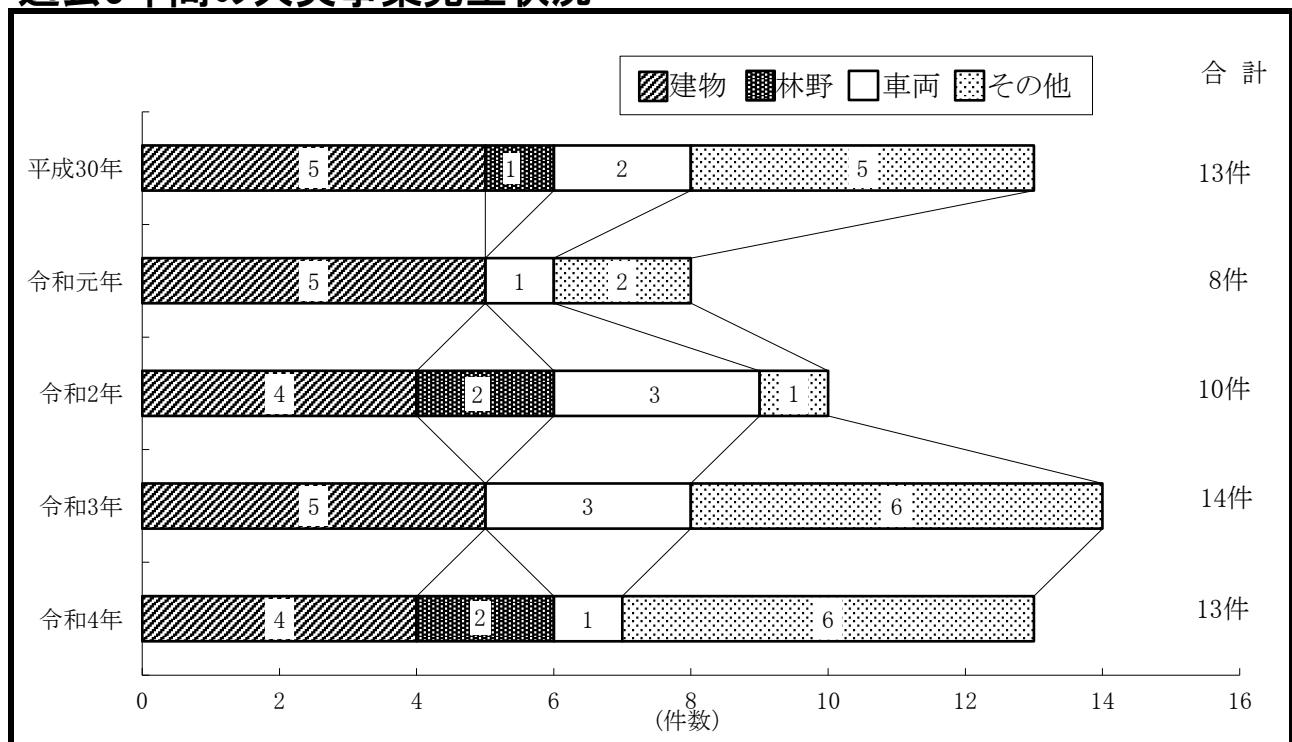
火災事案発生状況

年 別 区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	火 灾 件 数	37,981	37,683	34,691	35,222	
	出 火 率	3	3	2.7	2.8	
	1件当たり損害額(千円)	2,228	2,410	2,990	2,958	
三重県	火 灾 件 数	738	660	615	621	
	出 火 率	4	3.6	3.5	3.4	
	1件当たり損害額(千円)	1,954	1,793	2,387	2,214	
菰野町	火 灾 件 数	13	8	10	14	13
	出 火 率	3.1	1.9	2.4	3.4	3.2
	1件当たり損害額(千円)	156	1,889	3,531	566	1,576

※出火率=人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 40,182人(令和4年12月31日現在)

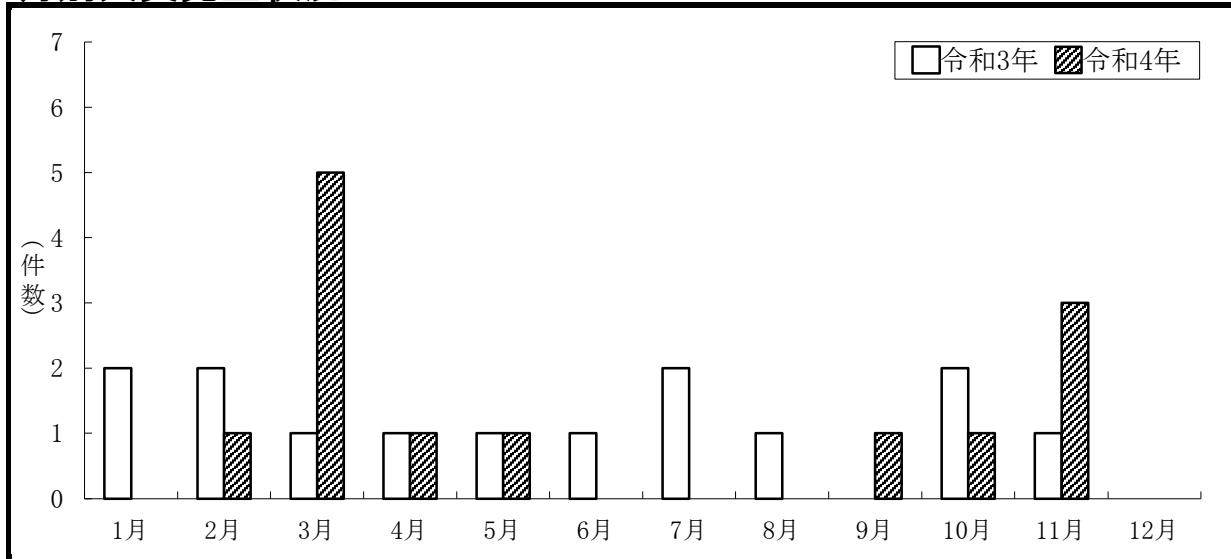
過去5年間の火災事案発生状況



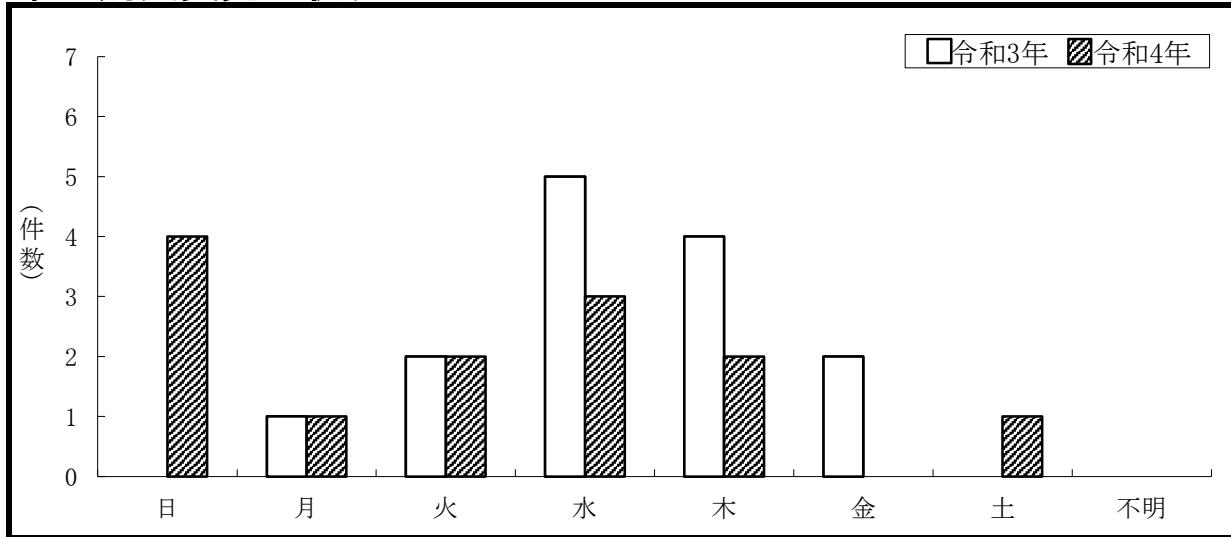
地区別火災発生状況

区分 地区	火災件数	火災種別				建物 焼損面積 (m ²)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物火災	林野火災	車両火災	その他火災			全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計			死者	負傷者
菰野	3			1	2						1	1		228		1
鶴川原	1	1				140		1				1		19,956		
竹永	3	1	1		1			5				1	1		297	
朝上	2	1	1					2				1	1		1	
千種	4	1			3							1	1		4	
合計	13	4	2	1	6	140	7	1			4	5		20,486		1

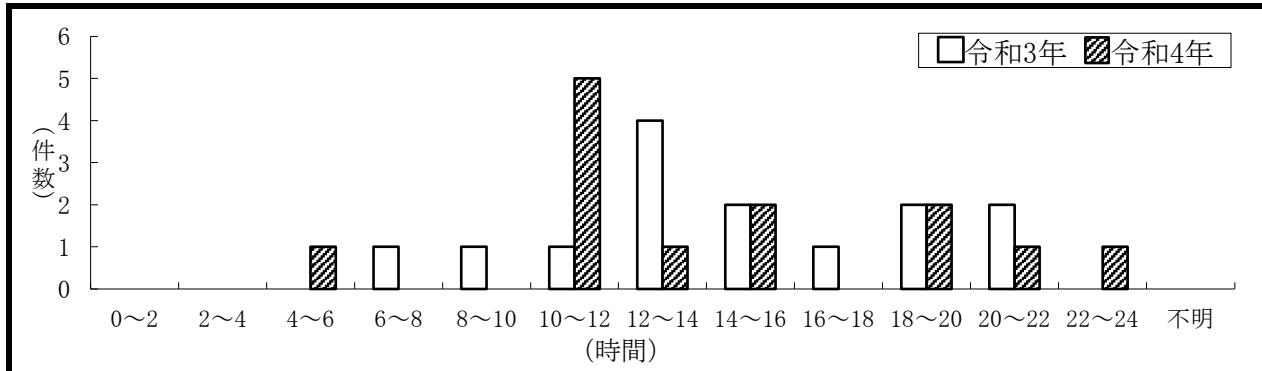
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

区分	種別	火 灾					非 火 灾				管外
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	警 戒	誤 報	誤 認	そ の 他	
署単独出動		1				1	27			3	30
第1出動		3	2	1	4	10					
第2出動											
第3出動					1	1					
事後聞知					1	1					
合 計		4	2	1	6	13	27			3	30

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区(区)	※覚知別	天候	風向	風速(m/s)	気温(℃)	
1	林野	2月9日(水) 14時45分	朝上 (田光)	報知電話	晴	北東	4	9	
2	その他	3月8日(火) 10時30分	竹永 (永井)	報知電話	晴	北北東	4	10	
3	林野	3月13日(日) 10時50分	竹永 (永井)	報知電話	曇	東	2	17	
4	その他	3月17日(木) 15時30分	千種 (千草)	報知電話	曇	北	4	16	
5	その他	3月20日(日) 4時11分	菰野 (湯の山)	報知電話	晴	北西	6	6	
6	建物	3月28日(月) 20時20分	竹永 (竹成)	加入電話	晴	北西	5	9	
7	建物	4月23日(土) 13時00分	朝上 (田光)	報知電話	晴	北西	4	24	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

湿度 (%)	出火原因等			火災概要
	発火源	経過	着火物	
41	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の立木、枯草に延焼拡大したもの。
36	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の枯草に延焼拡大したもの。
58	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の立木、枯草に延焼拡大したもの。
44	不明	不明	枯草	空地に繁茂している枯草が、何らかの原因により焼損したもの。
65	不明	不明	不明	旧ホテルの廃屋から、何らかの原因により出火し焼損したもの。
50	煙道	過熱する	その他	胡麻焙煎装置の熱気排気用の配管と、胡麻の表皮及び配管の一部が高温状態となり出火し、焼損したもの。
50	照明器具	過熱する	その他	照明器具が白熱灯の熱により長年蓄積された埃から出火し、焼損したもの。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区(区)	※覚知別	天候	風向	風速(m/s)	気温(℃)	
8	その他	5月8日(日) 18時20分	千種 (潤田)	事後聞知	晴	北西	5	16	
9	建物	9月1日(木) 23時00分	千種 (岡)	加入電話	雨	北北東	1	24	
10	その他	10月19日(水) 11時30分	千種 (江野)	報知電話	晴	北	3	21	
11	車両	11月2日(水) 18時00分	菰野 (宿野)	報知電話	晴	北	4	18	
12	その他	11月6日(日) 11時40分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	晴	北西	6	17	
13	建物	11月8日(火) 11時50分	鵜川原 (川北)	報知電話	晴	北	5	18	

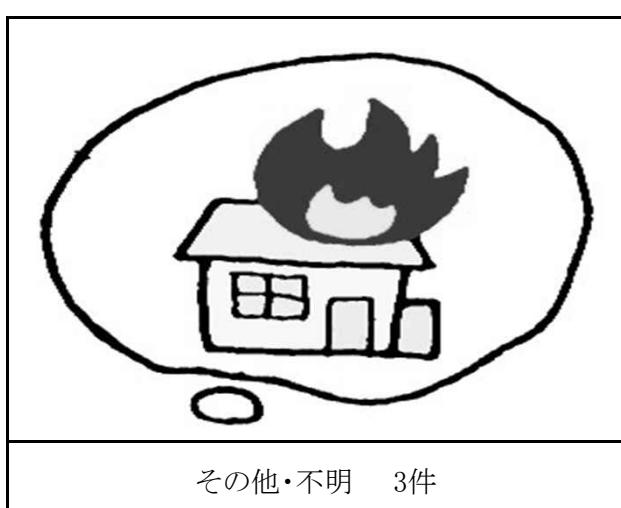
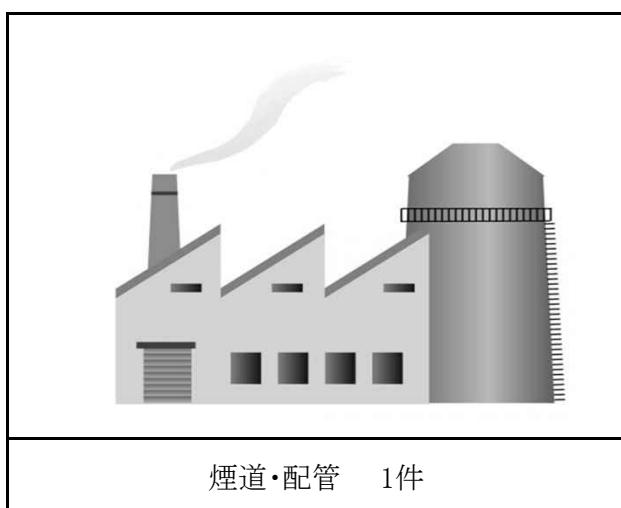
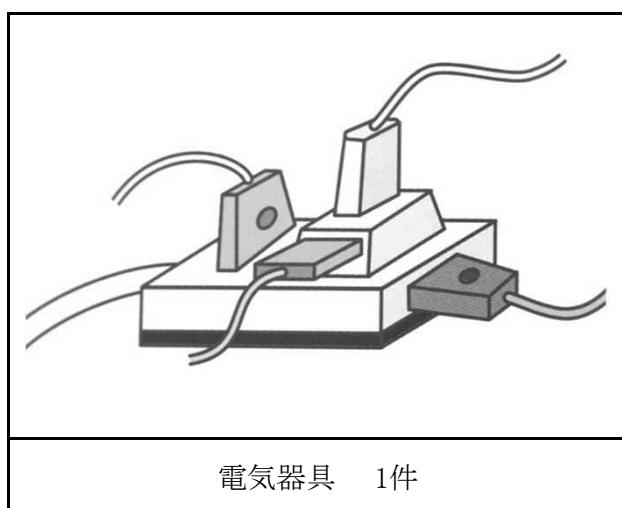
※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

湿度 (%)	出 火 原 因 等			火 災 概 要
	発 火 源	経 過	着 火 物	
37	バーナー	火源が動いて接触する	落葉	ガスバーナーで草を焼却中、植栽の下の枯れた落葉に着火し、植栽を焼損したもの。
98	プラグ	スパークによる引火	その他	工業扇のコンセントと延長コードのプラグの間に溜った埃と湿度によりスパークし、焼損したもの。
32	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の枯草に延焼拡大したもの。
69	たばこ	火源が転倒落下する	ごみ屑	座席シートの上に置いてあったごみ屑にたばこを落としたことにより、着火し、焼損したもの。
38	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の枯草に延焼拡大したもの。
50	不明	不明	不明	何らかの原因により工場内から出火し、建物と収容物を焼損したもの。

絵で見る火災原因（13件）



救急 救助



毎年開催される消防救助技術東海地区指導会に向けた訓練を行っています。
令和 4 年はロープブリッジ渡過で三重県代表として全国消防救助技術大会に出場しました。

救助訓練署内選考会
令和 4 年 6 月 24 日
於：菰野町消防本部

救急

令和4年中の救急出動件数は1,777件、搬送人員は1,734人でした。1日あたり平均4.9件の出動で、町民23人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,230件(69.2%)で最も多く、続いて一般負傷が279件(15.7%)、交通が162件(9.1%)、その他が106件(6.0%)となりました。

救急件数及び搬送人員が対前年比で増加しました。これは、新型コロナウイルス感染症第6波、第7波の影響や行動制限の緩和等が要因の1つではないかと考えられます。

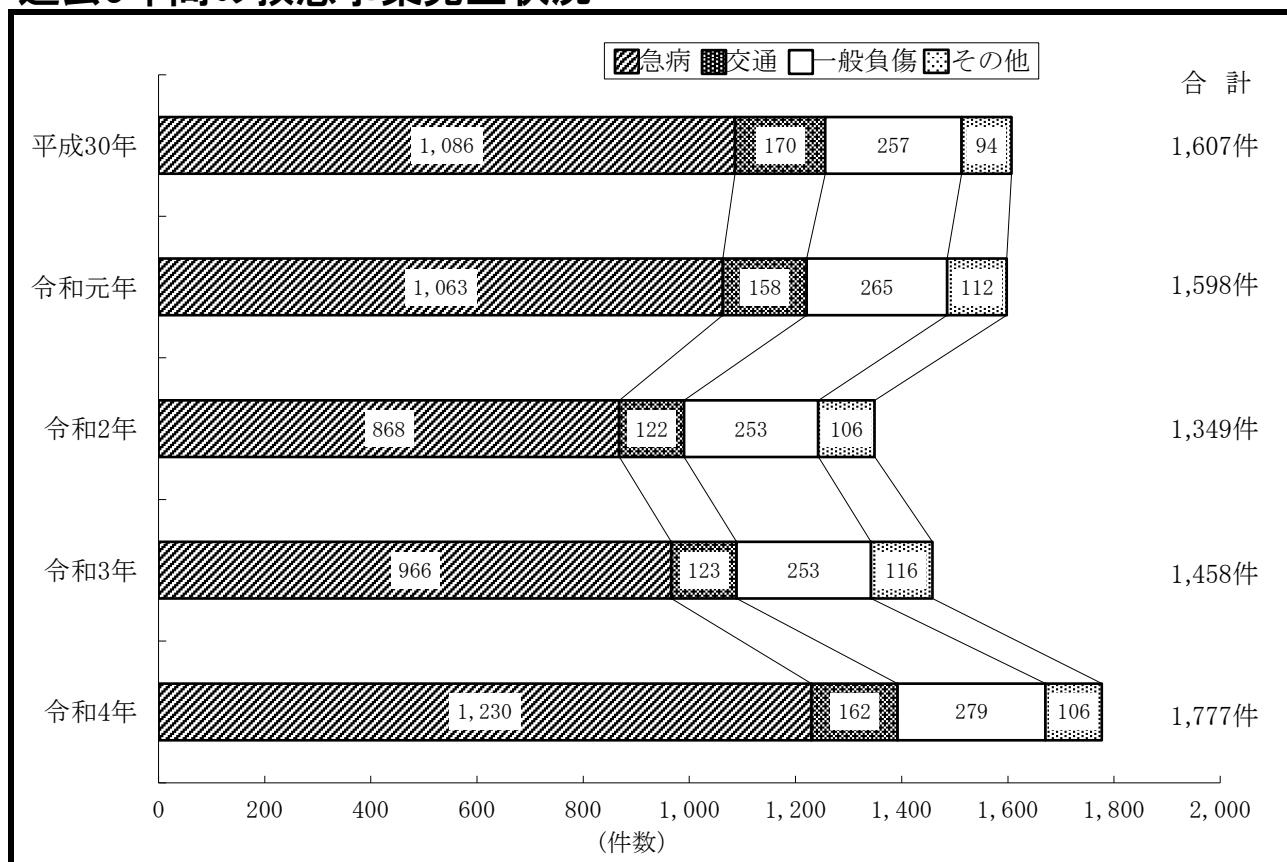
救急事案発生状況

年別 区別		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	救急件数	6,605,213	6,639,767	5,933,277	6,193,581	
	発生率	520	523	473	492	
三 重 県	救急件数	100,560	98,919	87,314	90,460	
	発生率	554	545	493	516	
菰 野 町	救急件数	1,607	1,598	1,349	1,458	1,777
	発生率	384	383	324	352	430

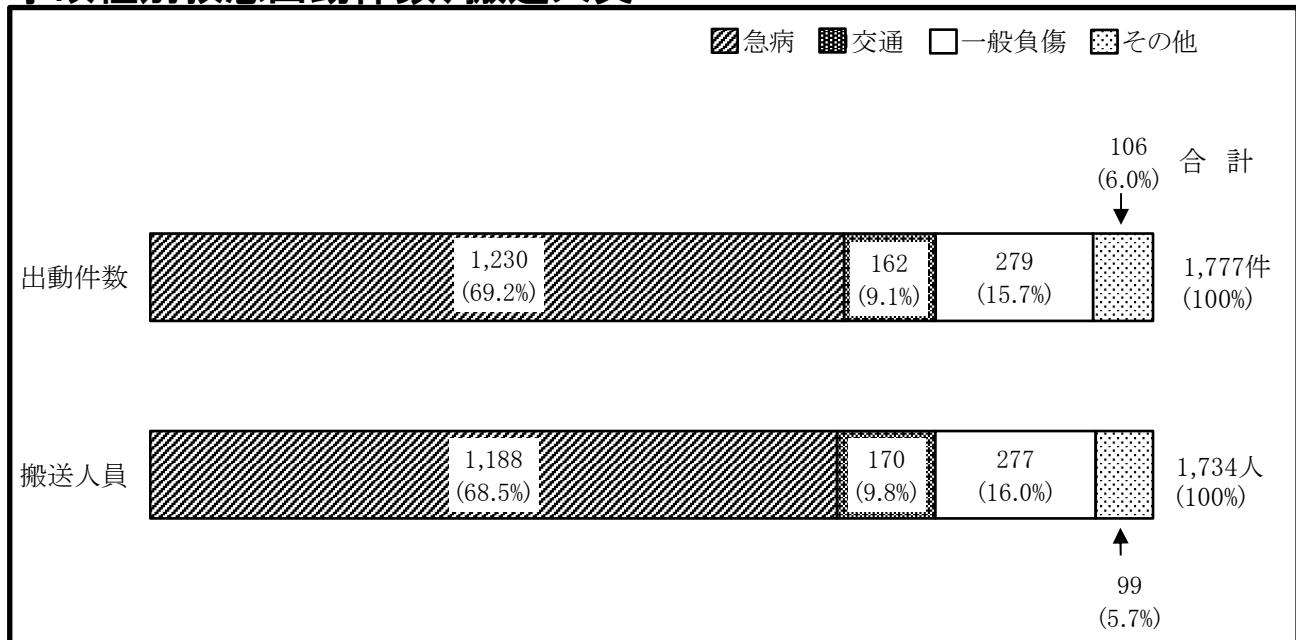
*発生率=人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,283人(令和4年12月31日現在)

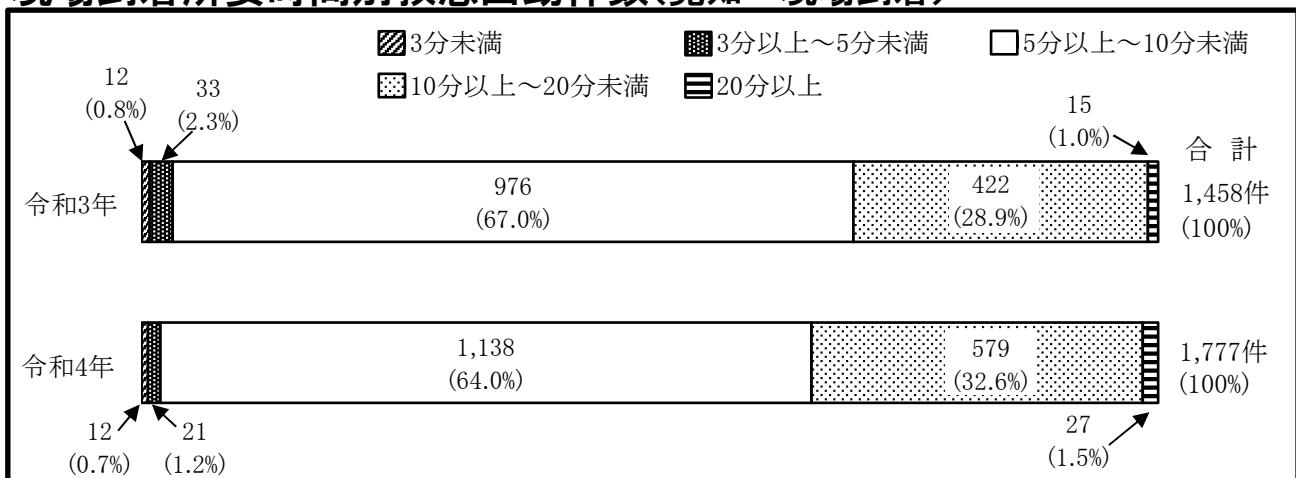
過去5年間の救急事案発生状況



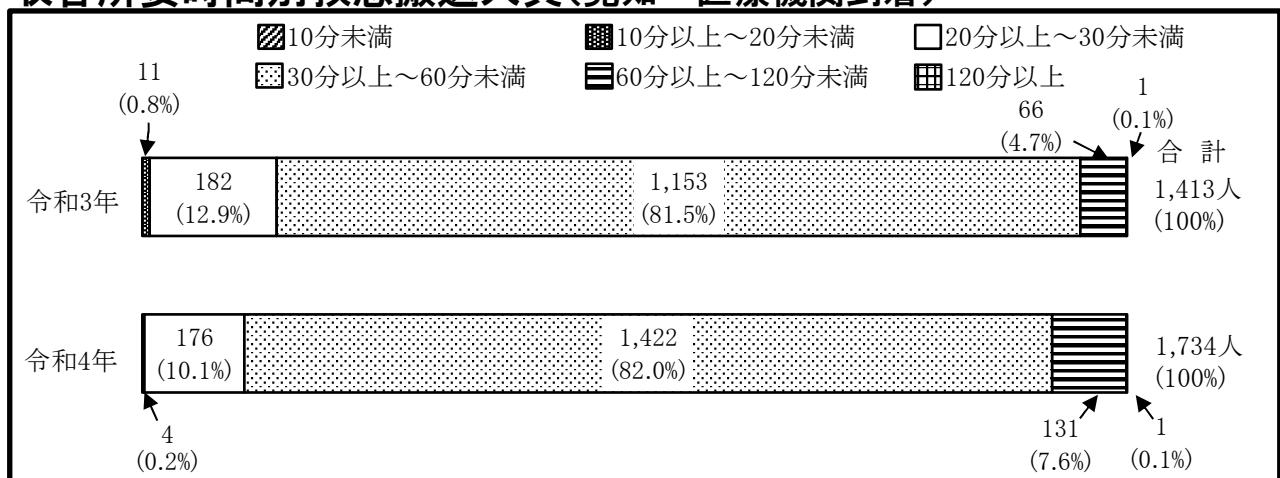
事故種別救急出動件数、搬送人員



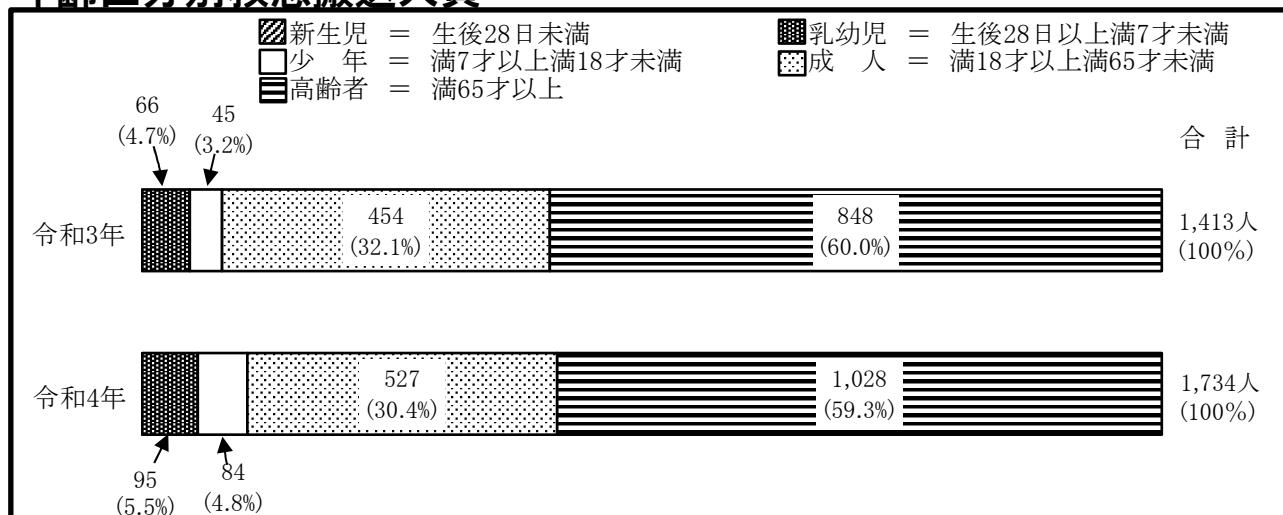
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



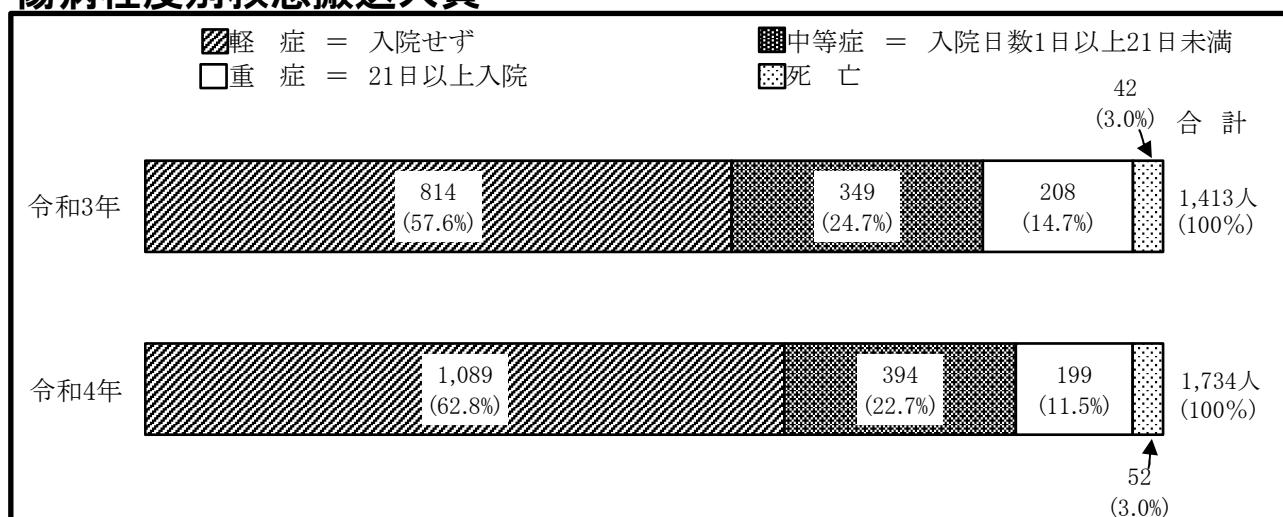
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



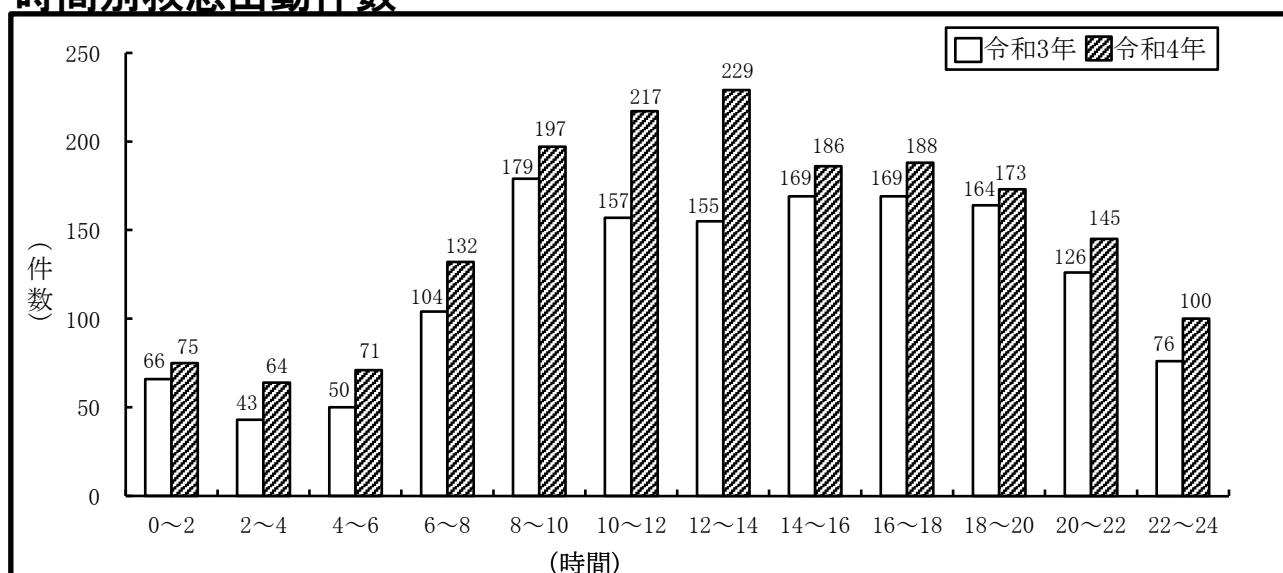
年齢区分別救急搬送人員



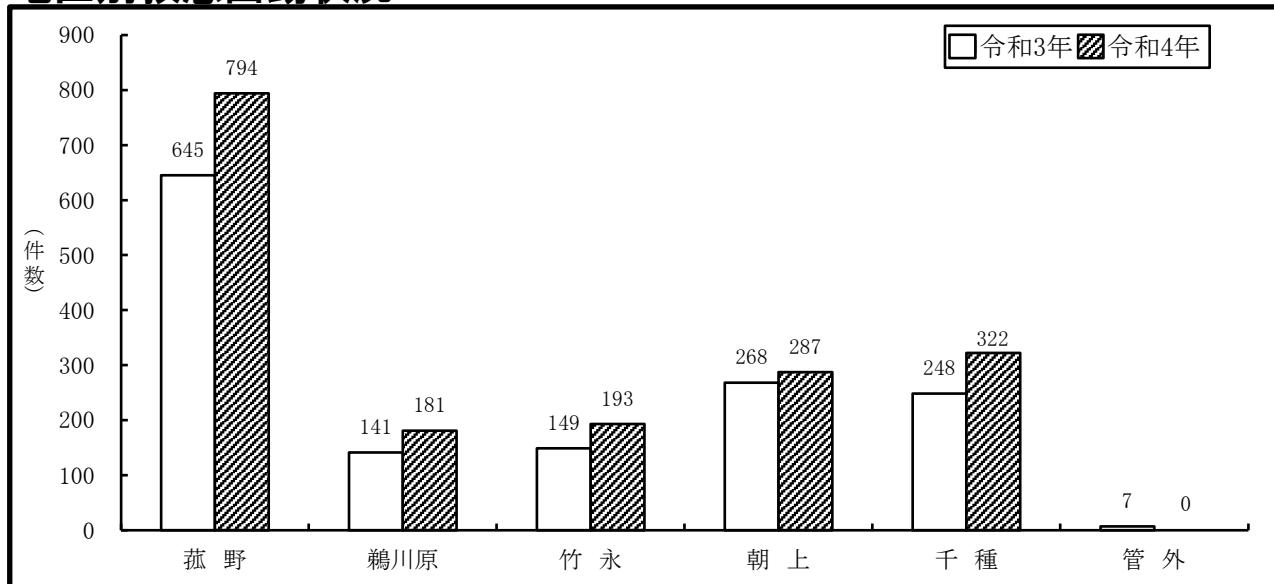
傷病程度別救急搬送人員



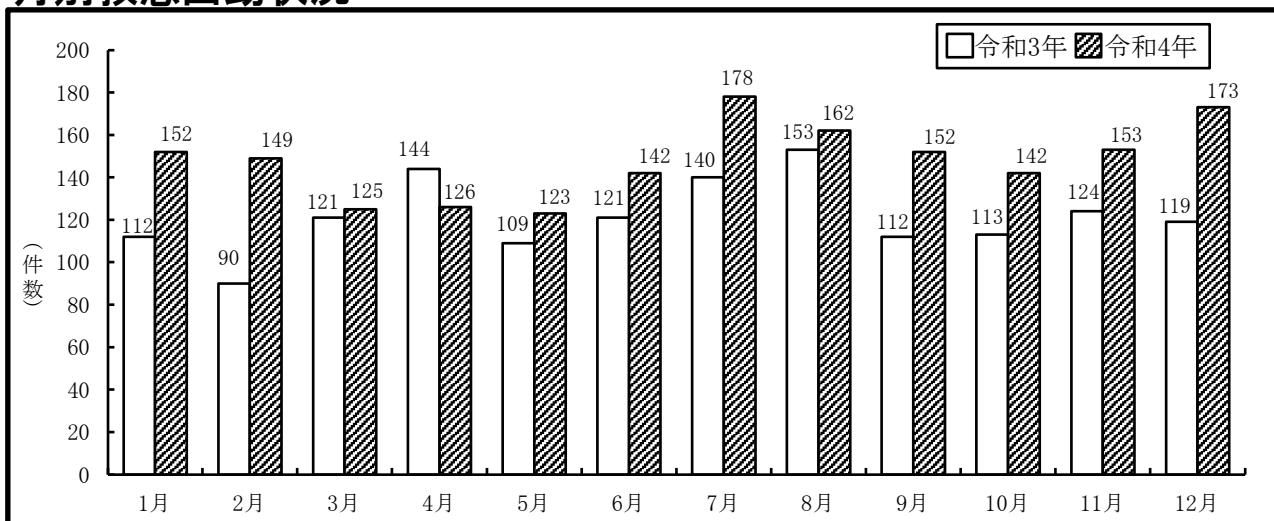
時間別救急出動件数



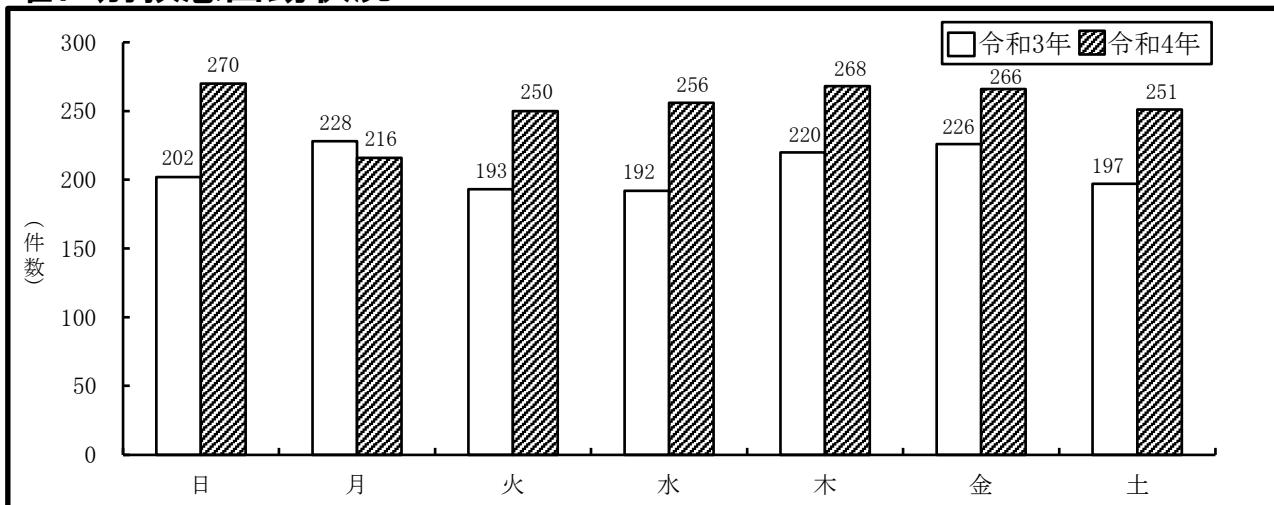
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高 齢 者	令和4年 合計	令和3年 合計
死 亡				6	46	52	42
重 症				3	47	149	199
中 等 症		11		8	78	297	394
軽 症		84		73	396	536	1,089
そ の 他							
合 計		95		84	527	1,028	1,734
							1,413

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和4年 合計	令和3年 合計
新 生 児													
乳 幼 児				4			32			59		95	66
少 年				25		2	13	1		43		84	45
成 人			1	104	17	1	46	1	7	327	23	527	454
高 齢 者				37	8		186	1	2	759	35	1,028	848
合 計			1	170	25	3	277	3	9	1,188	58	1,734	1,413

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和4年 合計	令和3年 合計
死 亡							2		3	46	1	52	42
重 症				9	7		34		1	123	25	199	208
中 等 症				13	2		53		1	302	23	394	349
軽 症			1	148	16	3	188	3	4	717	9	1,089	814
そ の 他													
合 計			1	170	25	3	277	3	9	1,188	58	1,734	1,413

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和4年合計	令和3年合計		
休日					23	4	1	50	1		241		320	197		
休日以外の日				1	139	21	2	229	3	15	989	58	1,457	1,261		
時間内訳	0~2					1	1		6		3	64		75	66	
	2~4						4			5		1	54		64	43
	4~6						8			7		1	55		71	50
	6~8			1	9				20		1	101		132	104	
	8~10					17	5		31		1	137	6	197	179	
	10~12					22	6	1	31		2	142	13	217	157	
	12~14					32	3	1	34	2	1	136	20	229	155	
	14~16					21	5		43			111	6	186	169	
	16~18					17	5	1	37		1	115	12	188	169	
	18~20					16			22	2	1	131	1	173	164	
	20~22					9			27		1	108		145	126	
	22~24					6			16		2	76		100	76	
令和4年計				1	162	25	3	279	4	15	1,230	58	1,777			
令和3年計		1			123	19	10	253	9	11	966	66			1,458	

事故種別、応急処置件数

応急処置	事故種別	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
止 血		14	15	67	10	106
固 定		27	134	117	22	300
人工呼吸		2				2
心肺蘇生		41		2	3	46
酸素吸入		266	15	11	23	315
気道確保		68		4	3	75
気道確保（特定行為）		18		3		21
保 温		289	38	56	18	401
被 覆		13	39	83	15	150
除 細 動		5				5
静脈路確保		41		3	3	47
薬剤投与		25			2	27
ブドウ糖投与		2				2
そ の 他		4,309	587	848	307	6,051
合 計		5,120	828	1,194	406	7,548

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	開設別	事故種別		急 病		交 通		一般負傷		そ の 他		令和4年合計		令和3年合計	
				うち 管外											
救急告示医療機関	国 立														
	公 立	768	768	101	101	165	165	75	75	1,109	1,109	846	846		
	公 的	336	118	61	29	100	46	20	4	517	197	478	171		
	私的	病 院	71	71	7	7	11	11	4	4	93	93	76	76	
	診 療 所														
	計	1,175	957	169	137	276	222	99	83	1,719	1,399	1,400	1,093		
その他の医療機関	国 立	1	1								1	1			
	公 立	1	1								1	1			
	公 的												1	1	
	私的	病 院	7	7							7	7	7	7	
	診 療 所	4	2	1		1	1			6	3	5	5		
	計	13	11	1		1	1			15	12	13	13		
計	国 立	1	1												
	公 立	769	769	101	101	165	165	75	75	1,110	1,110	846	846		
	公 的	336	118	61	29	100	46	20	4	517	197	479	172		
	私的	病 院	78	78	7	7	11	11	4	4	100	100	83	83	
	診 療 所	4	2	1		1	1			6	3	5	5		
	計	1,188	968	170	137	277	223	99	83	1,734	1,411	1,413	1,106		
その他の場所	接骨院等														
	その 他														
	計														
	令 和 4 年 計	1,188	968	170	137	277	223	99	83	1,734	1,411				
	令 和 3 年 計	926	712	127	104	249	190	111	100			1,413	1,106		

救 助

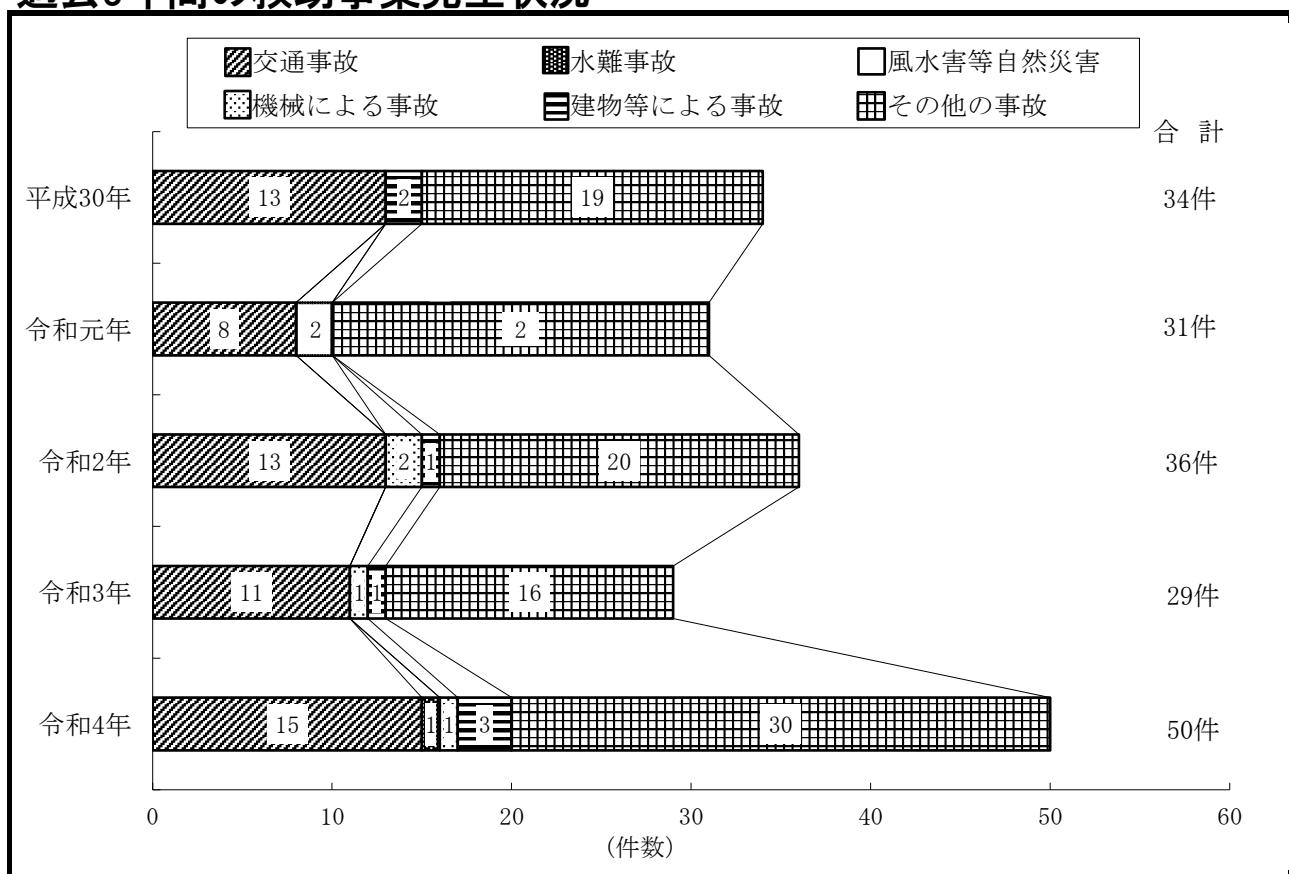
令和4年中の救助出動件数は50件、救助人員は33人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故29件(うち山岳救助24件)が最も多く、交通事故が15件、建物等による事故が3件、水難事故が1件、機械による事故が1件、ガス及び酸欠事故が1件となりました。

救助事案発生状況

年 別 区 別		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	救助出動件数	97,429	96,424	93,989	99,395	
	救助活動件数	61,507	61,340	59,977	63,198	
	救助人員	63,836	63,670	57,952	59,861	
三 重 県	救助出動件数	876	924	878	930	
	救助活動件数	582	606	575	637	
	救助人員	620	725	633	702	
菰 野 町	救助出動件数	34	31	36	29	50
	救助活動件数	25	22	25	23	32
	救助人員	31	24	26	31	33

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数・救助人員

区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 由 る 事 故	建 物 等 由 る 事 故	ガス及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その他の 事故	令 和 4 年 合 計	令 和 3 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			15	1		1	3	1		29	50	29
救 助 人 員			7	1		1	2			22	33	31

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 由 る 事 故	建 物 等 由 る 事 故	ガス及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その他の 事故	令 和 4 年 合 計	令 和 3 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			53	6		4	12			132	207	124
消 防 隊 員			19					4			23	12
救 急 隊 員			47	3		3	9	3		15	80	66
合 計			119	9		7	21	7		147	310	202

事故種別、救助出動車両

車両	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 由 る 事 故	建 物 等 由 る 事 故	ガス及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	その他の 事故	令 和 4 年 合 計	令 和 3 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			15	1		1	3			4	24	18
タ ン ク 車									1			1
ポンプ車			6								6	4
救 急 車			16	1		1	3	1		5	27	22
指 揮 車				1							1	1
広 報 車										25	25	11
資機材搬送車												
その他の車両										5	5	1
合 計			37	3		2	6	2		39	89	57

※その他の車両とは、事務連絡車と防災広報車

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	交 通	1月 2日(日) 11時 59分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
2	そ の 他	1月 5日(水) 10時 19分	菰 野 (神 森)	報 知 電 話	
3	交 通	1月 21日(金) 13時 04分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
4	交 通	1月 30日(日) 13時 20分	鶴 川 原 (大強原)	報 知 電 話	
5	交 通	2月 4日(金) 8時 19分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
6	交 通	2月 6日(日) 15時 10分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	
7	そ の 他 (山 岳)	2月 13日(日) 8時 32分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
8	そ の 他 (山 岳)	3月 6日(日) 12時 29分	千 種 (千 草)	加 入 電 話	
9	交 通	3月 18日(金) 10時 29分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
10	交 通	3月 20日(日) 18時 55分	鶴 川 原 (大強原)	加 入 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車同士の衝突事故により、1名が車内に閉じ込められている。	車両固定後、後部ドアから救助隊進入し、介添えにて車外へ救出した。
救助工作車 救急3号車	8	2階建てアパート1室へ、玄関扉が施錠されており室内へ入ることができない。	救急隊が既に屋内へ進入しており、救助活動の必要はなく、救急隊の支援をし、帰署した。
ポンプ車 救助工作車 救急2号車	7	交差点内での、車両同士の衝突事故。1台が横転し、車内に1名取り残されている。	先着の救急隊によるフロントガラス切断の活動補助を行った。
救助工作車 救急3号車	5	軽四自動車同士の衝突事故により、車内に閉じ込められている。	現場到着時には、全員車外へ出ており救助活動なし。
救助工作車 救急1号車	7	自転車で走行中に用水路へ転落。	全身固定実施後、梯子にて救出した。
救助工作車 救急3号車	4	軽四自動車の単独事故。田んぼへ落下し、車内に1名が閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。
広報車	4	御在所岳表道登山道2名道迷いに警察官3名が接触し計5名でビバーグし、疲弊により救助要請。	現場到着前に三重県防災航空隊により、三滝川場外へ搬送された。
広報車 事務連絡車	8	釈迦ヶ岳庵座の滝付近に人が倒れている。	人力にて引揚げた後、担架にて搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車の単独事故。横転した車両に1名閉じ込められている。	すでに車外へ出ており、救助の必要はなかった。漏油を確認したため除去を行った。
救助工作車 救急1号車 救急2号車	10	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故。傷病者が2名おり、挟まれ等の詳細不明。	現場到着時には、車外へ出ており、救助活動なし。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
11	その他	3月21日(月) 14時01分	菰野 (湯の山)	加入電話	
12	その他 (山岳)	4月2日(土) 15時12分	菰野 (湯の山)	報知電話	
13	交 通	4月5日(火) 15時36分	菰野 (宿野)	報知電話	
14	交 通	4月11日(月) 9時28分	鶴川原 (川北)	報知電話	
15	その他 (山岳)	5月8日(日) 10時47分	菰野 (湯の山)	加入電話	
16	交 通	5月12日(木) 3時06分	新名神高速道路	加入電話	
17	その他 (山岳)	5月18日(水) 7時40分	菰野 (湯の山)	報知電話	
18	その他	5月29日(日) 19時04分	朝上 (根の平)	報知電話	
19	その他 (山岳)	6月3日(金) 10時43分	菰野 (湯の山)	報知電話	
20	水 難	6月6日(月) 7時23分	竹永 (竹成)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
広報車	4	国道477号線蒼滝付近の崖下12mにうつ伏せで1名倒れている	担架へ収容した後、人力にて国道まで救出した。
広報車	4	御在所岳裏道登山道下山中に5m滑落し、頭部及び腰部を負傷した。	現場到着時には、滋賀県防災航空隊により要救助者の搬送準備が開始されていたため、その活動の補助を実施。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	11	普通乗用車の単独事故。運転席ドアが開放困難で、車内に2名閉じ込められている。	現場到着時には、2名とも車外へ出ており救助活動なし。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	11	車両同士の衝突事故。車両1台が横転しており、1名車内に閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。
広報車 可搬積載車	7	鎌ヶ岳三ツロ谷登山口より30分程度の所で登山道から2m下の川へ滑落している。	担架にて救出し登山口まで搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	故障により停車していた10tトラックに後方から10tトラックが追突し、1名車両内に閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。
広報車	4	御在所岳中道登山道下山中に道迷いになり、衰弱により救助要請。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて搬送後、滋賀県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	1歳児の左ひざがベビーガードに挟まって足が抜けなくなった。	ドライバーにてベビーガードを外して救出した。
広報車	4	御在所岳大黒滝下付近にて滑落し、顔面からの出血、背部痛により歩行困難。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
指揮車 救助工作車 救急1号車	9	潜水橋で川に流され、30m下流の中州に取り残されている。	四日市市消防本部水難救助隊に応援要請し、水難救助隊員によりロープで引き揚げ救出完了となった。

救助出動状況

番号	事故種別	覺 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覺 知 別	
21	交 通	6月7日(火) 4時41分	新名神高速道路	報知電話	
22	そ の 他 (山 岳)	6月12日(日) 10時50分	菰野 (湯の山)	報知電話	
23	そ の 他 (山 岳)	6月19日(日) 8時31分	千種 (千草)	報知電話	
24	そ の 他 (山 岳)	6月23日(木) 7時41分	菰野 (湯の山)	報知電話	
25	そ の 他 (山 岳)	6月25日(土) 11時20分	千種 (千草)	加入電話	
26	そ の 他 (山 岳)	6月25日(土) 18時36分	千種 (千草)	報知電話	
27	そ の 他 (山 岳)	6月27日(月) 15時55分	菰野 (湯の山)	報知電話	
28	交 通	6月28日(火) 15時36分	竹永 (竹成)	報知電話	
29	そ の 他 (山 岳)	7月13日(水) 13時10分	菰野 (湯の山)	報知電話	
30	そ の 他 (山 岳)	7月13日(水) 15時55分	菰野 (湯の山)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事 故 概 要 等	救 助 概 要 等
	ポンプ車 救助工作車 救急1号車	11	10t トラックに乗用車が追突した事故。	高速道路上の車線規制を実施。救助活動の必要性が無かったため帰署。
	広報車 救急1号車	4	御在所岳藤内壁をクライミング中に10m滑落し、背部及び左手を負傷した。	レスキューハーネスにて搬送し救出した。
	広報車	4	国見岳腰越峠付近で滑落し、石と石の間にはまり込んでいる。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
	広報車 可搬積載車	8	御在所岳本谷不動滝付近で、前額部より出血し倒れている。	レスキューハーネス及び担架にて搬送し救出した。
	広報車	4	国見岳腰越峠付近を登山中に、熱中症疑いで動けない。	出場途上に症状が回復したため、出場キャンセルとなった。
	広報車 可搬積載車	7	国見岳ハライド付近を下山中に右ひざの痛みにより、歩行困難となつた。	介添えにて搬送し救出した。
	広報車	4	御在所岳裏道前壁ルンゼ付近で1mほど滑落し、右足を負傷した。	滋賀県防災航空隊により、医療機関へ搬送した。
	ポンプ車 救助工作車 救急2号車	9	軽四自動車の単独事故。1名車の中に閉じ込められている。	車両固定後、運転席側ドアより車外へ救出した。
	広報車 事務連絡車	9	登山中に行方不明中の2名を発見した。1名自力歩行不可。	レスキューハーネスにて搬送し救出した。
	広報車	4	御在所岳裏道分岐から中道へ下山中、斜面を2m滑落し歩行困難となつた。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで背負いにて搬送後、滋賀県防災航空隊が医療機関へ搬送した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
31	その他	7月20日(水) 15時23分	朝上 (小島)	報知電話	
32	その他 (山岳)	7月24日(日) 16時14分	千種 (千草)	報知電話	
33	その他 (山岳)	8月1日(月) 16時09分	菰野 (湯の山)	報知電話	
34	交 通	8月3日(水) 11時43分	菰野 (菰野)	報知電話	
35	その他	8月29日(月) 7時48分	竹永 (永井)	報知電話	
36	その他 (山岳)	8月31日(水) 12時33分	菰野 (菰野)	加入電話	
37	機 械	9月5日(月) 12時29分	菰野 (菰野)	報知電話	
38	建 物 等	9月8日(木) 18時05分	朝上 (小島)	報知電話	
39	ガス及び酸欠	9月16日(金) 16時53分	菰野 (菰野)	加入電話	
40	交 通	9月16日(金) 17時04分	鶴川原 (吉沢)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
救助工作車 救急1号車	6	ガードレールに接触し、車内でぐったりしている。	救急隊より救助の必要性がないとの連絡を受け、帰署した。
広報車	4	羽鳥峰峠付近で、意識朦朧状態となりぐったりしている。	滋賀県防災航空隊により、医療機関へと搬送した。
広報車	4	御在所岳中道登山道を登山中に両足が攣り動けなくなった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて搬送後、名古屋市消防局消防航空隊が医療機関へ搬送した。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	10	軽四自動車により横転した車両の中に1名閉じ込められている。	車両固定後、梯子にて救出した。
救助工作車 救急1号車	7	3m下の用水路に転落し動けない。	救急隊と連携し、担架にて救出し搬送した。
広報車	4	御在所岳裏道前壁ルンゼ付近にて昨日からの行方不明者を三重県警察航空隊が発見した。	滋賀県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	稲刈り中に誤って稲刈り機から転落し、右足首を挟まれている。	丸太を稲刈り機下部へ差し込み稲刈り機が動き救出となった。
救助工作車 救急2号車	7	浴室内で転倒し、ドアにもたれた状態で開放できないため救助要請となった。	わずかにドアが開くため、隙間から浴槽内へ押し入り救出した。
タンク車 救急1号車	7	浴室内で故意に硫化水素を発させた。	警察により屋外へ救出されていた。空気呼吸器を装着し、屋内を調べ異常がなかったため帰署した。
救助工作車 救急2号車	6	普通乗用車の自損事故。車内に閉じ込められている。	現場到着時には、車外へ出ており救助活動なし。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
41	交 通	9月23日(金) 21時31分	菰野 (菰野)	加入電話	
42	そ の 他 (山岳)	9月25日(日) 12時56分	菰野 (湯の山)	報知電話	
43	そ の 他 (山岳)	9月26日(月) 7時58分	朝上 (杉谷)	自己覚知	
44	そ の 他 (山岳)	10月14日(金) 13時55分	菰野 (湯の山)	報知電話	
45	そ の 他 (山岳)	10月19日(水) 10時42分	菰野 (湯の山)	報知電話	
46	そ の 他 (山岳)	11月10日(木) 18時03分	菰野 (湯の山)	加入電話	
47	そ の 他 (山岳)	11月15日(火) 10時21分	朝上 (杉谷)	加入電話	
48	建 物 等	11月17日(木) 14時04分	朝上 (田口新田)	報知電話	
49	建 物 等	11月17日(木) 14時36分	鶴川原 (大強原)	報知電話	
50	そ の 他 (山岳)	12月10日(土) 10時15分	菰野 (湯の山)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番（携帯電話等含む）

自己覚知 = 消防機関が事故の発生を直接覚知したもの

加入電話 = 一般加入電話

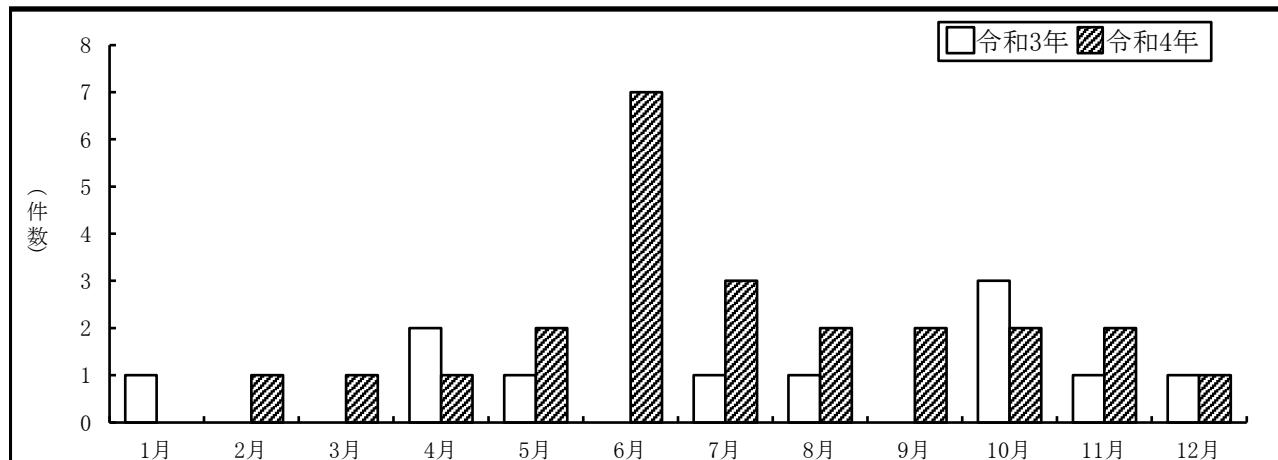
出場車両	人員	事 故 概 要 等	救 助 概 要 等
救助工作車 救急1号車	7	普通乗用車の単独事故。車両が横転し、車内に閉じ込められている。	救急隊と連携しバックドアから救出し搬送した。
広報車	4	釈迦ヶ岳岩ヶ峰付近で、滑落を目撃した登山者からの通報。	滑落場所から約90m下に要救助者を確認したが二次災害の危険があるため、下山した。
広報車	4	救助出場No. 42にて、救出不可であった要救助者の救出に向かった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
広報車	4	菰野富士遊歩道にて、左半身が麻痺して立ち上がりえない。	現場到着時には、警察隊にて救出されていた。
広報車	4	御在所岳中道登山道7合目付近で左足首を捻挫した。	三重県防災航空隊により、医療機関へと搬送した。
広報車	4	御在所岳裏道登山道鬼の耳付近を下山中に、足が痺れて動けなくなった。	介添えにて搬送し救出した。
広報車	4	行方不明になっていた登山者を警察隊が発見して救助要請を行った。	警察隊と協力し、ピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が三滝川河川敷へ搬送した。
救助工作車 救急2号車	7	昨日からの発熱があり、連絡が取れなく住居の玄関が開放できない可能性がある。	救急隊より救助の必要性がないとの連絡を受け、帰署した。
救助工作車 救急1号車	7	階段を昇っていて手すりに右前腕が挟まり抜けない。	手すりと階段壁をつなぐネジを取り外し、人力にて救出した。
広報車	4	御在所中道登山道負レ岩付近で体調不良により歩行困難となった。	三重県防災航空隊により、三滝川河川敷へと搬送した。

山岳救助

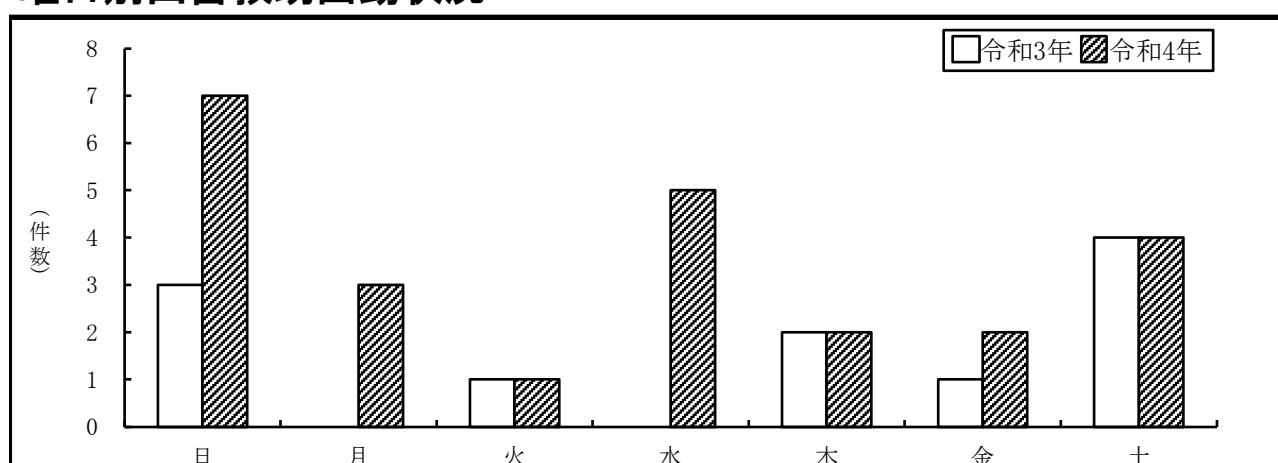
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しており、令和4年は24件の山岳救助出動をしています。

山岳救助事案の半数が三重県防災航空隊の防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は2時間53分であり、最長活動時間は7時間20分を要しました。

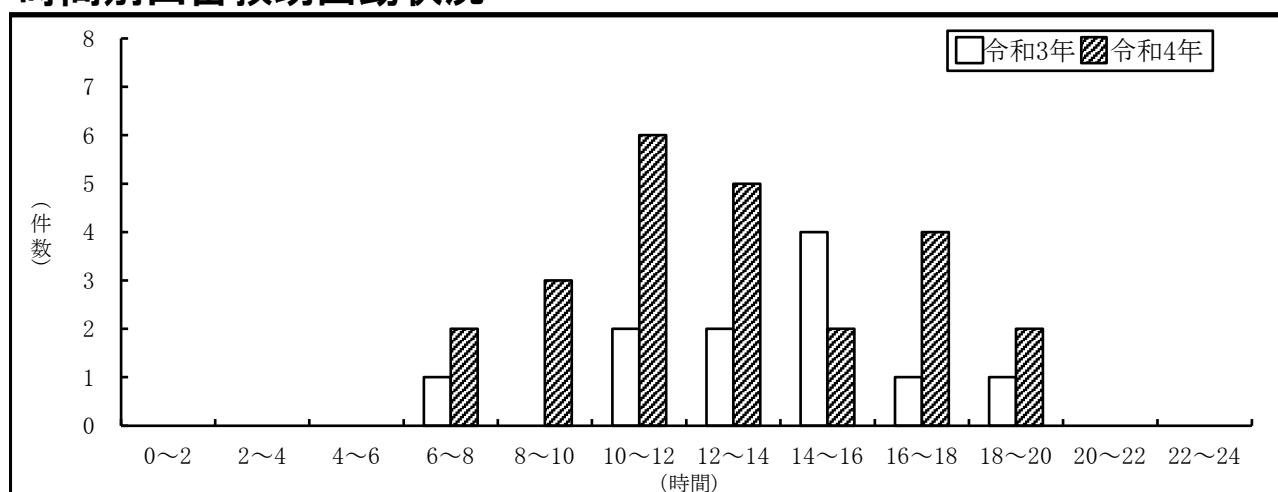
月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況



気象・通信・その他



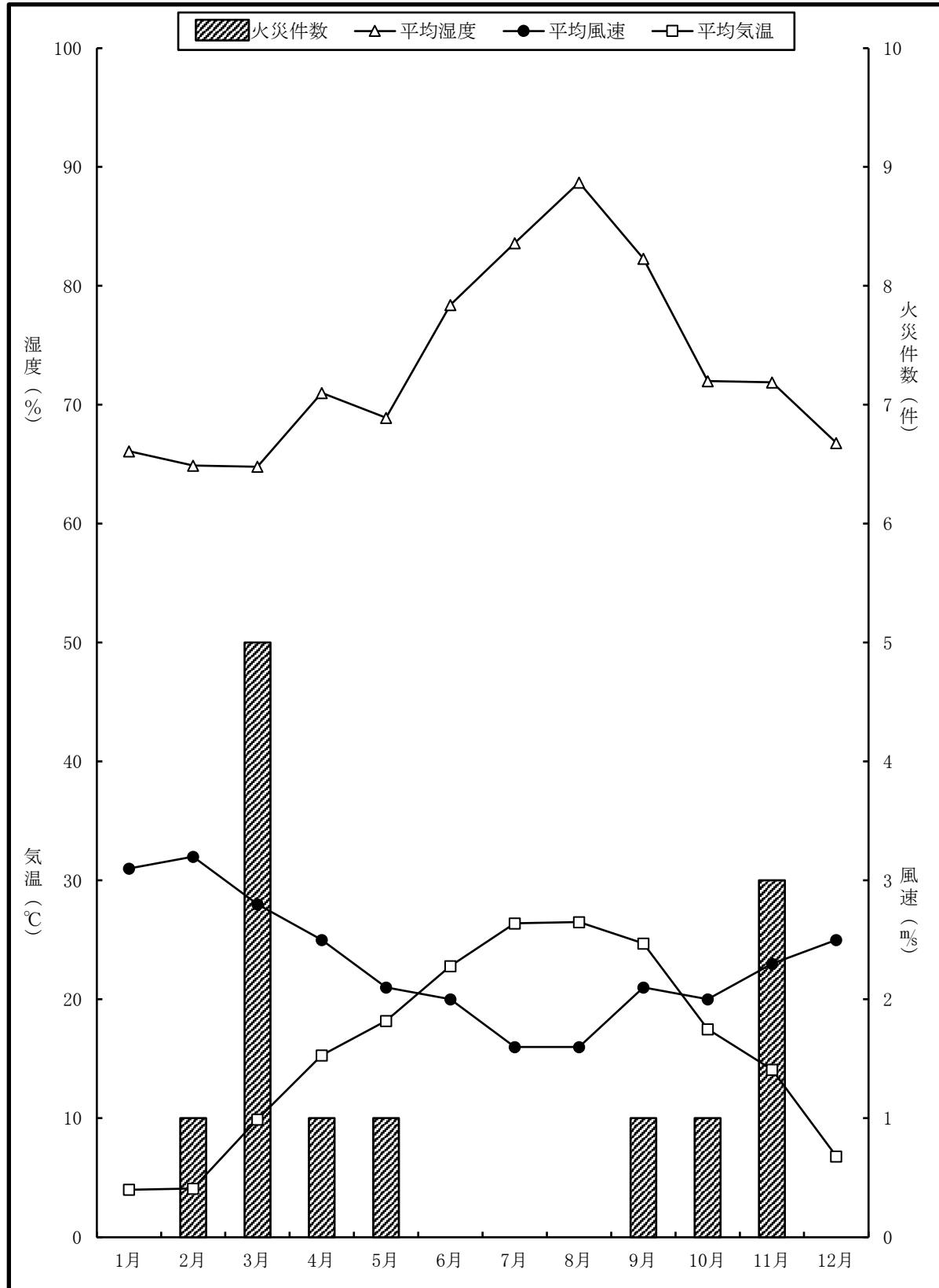
近年、毎年のように発生する水害に備え、菰野町では毎年水防訓練を実施しています。浸水被害を抑える方法として土のうを積み上げるほかにも、身近な物を活用して浸水被害を軽減させる方法もあり、毎年の訓練で有事の際に備えています。

水防訓練
令和4年5月29日
於：三滝川河川敷

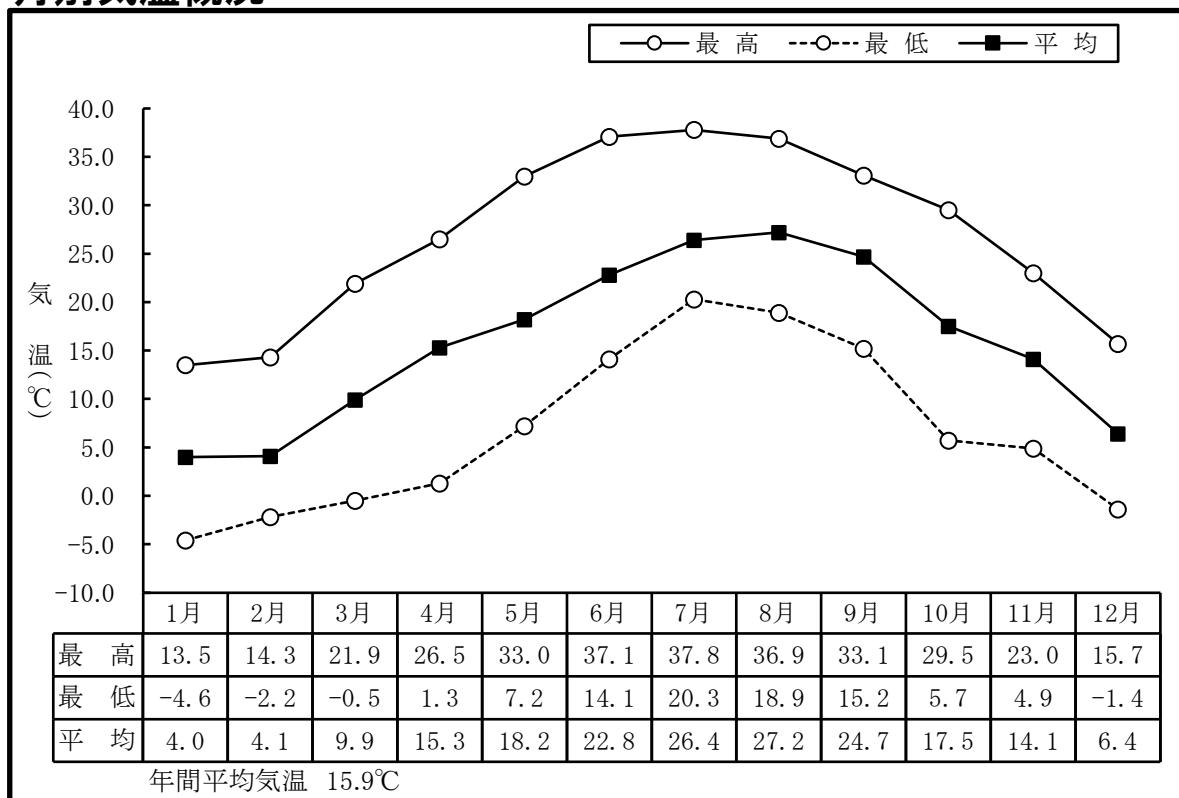
気象

気象観測システムによる自動定時観測（風速、気温、湿度、降水量等）を行っています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

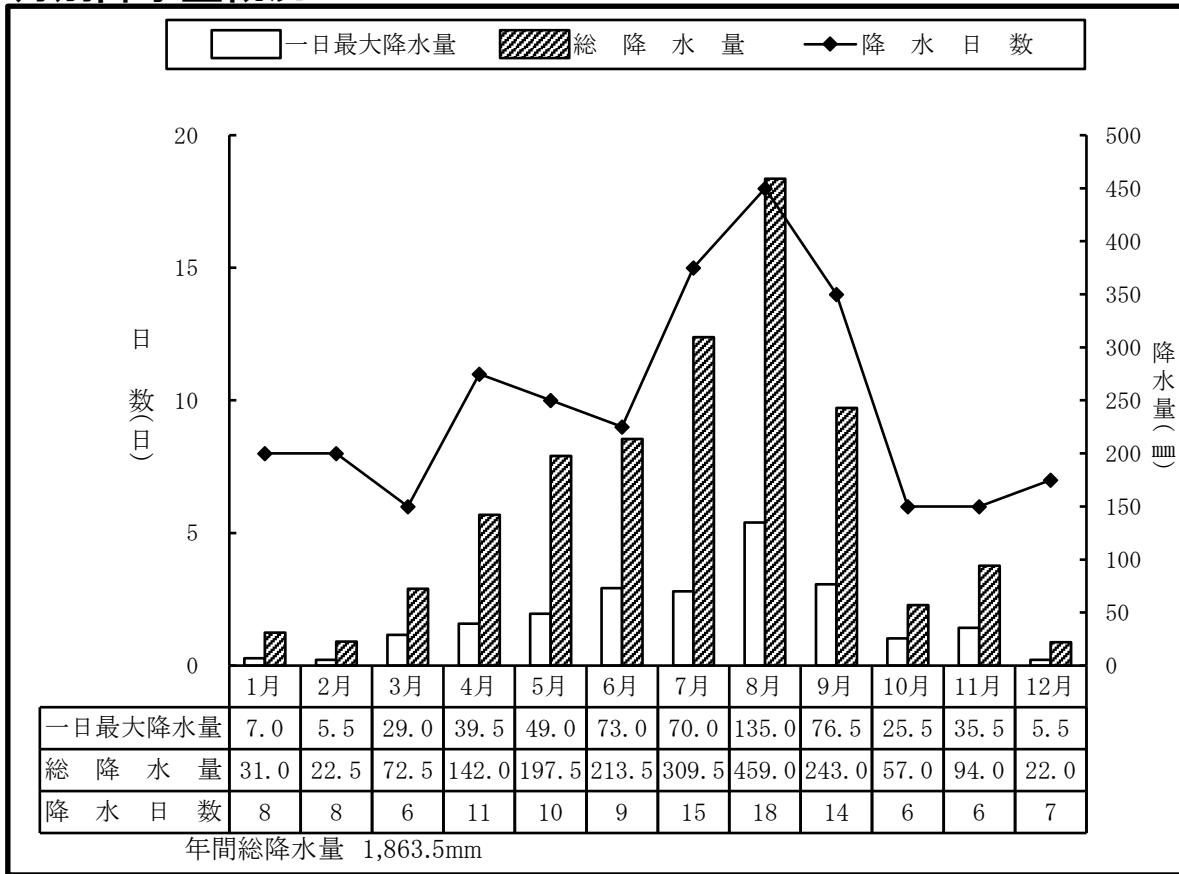
月別気象状況と火災件数



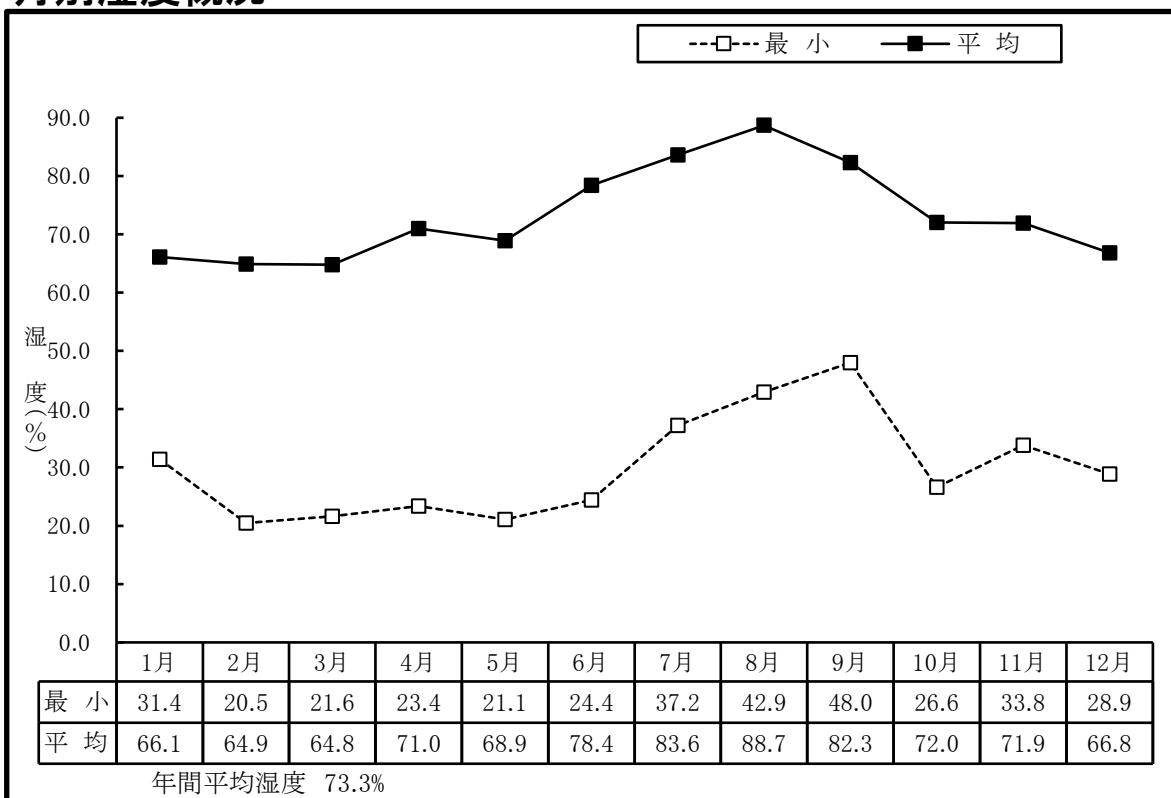
月別気温概況



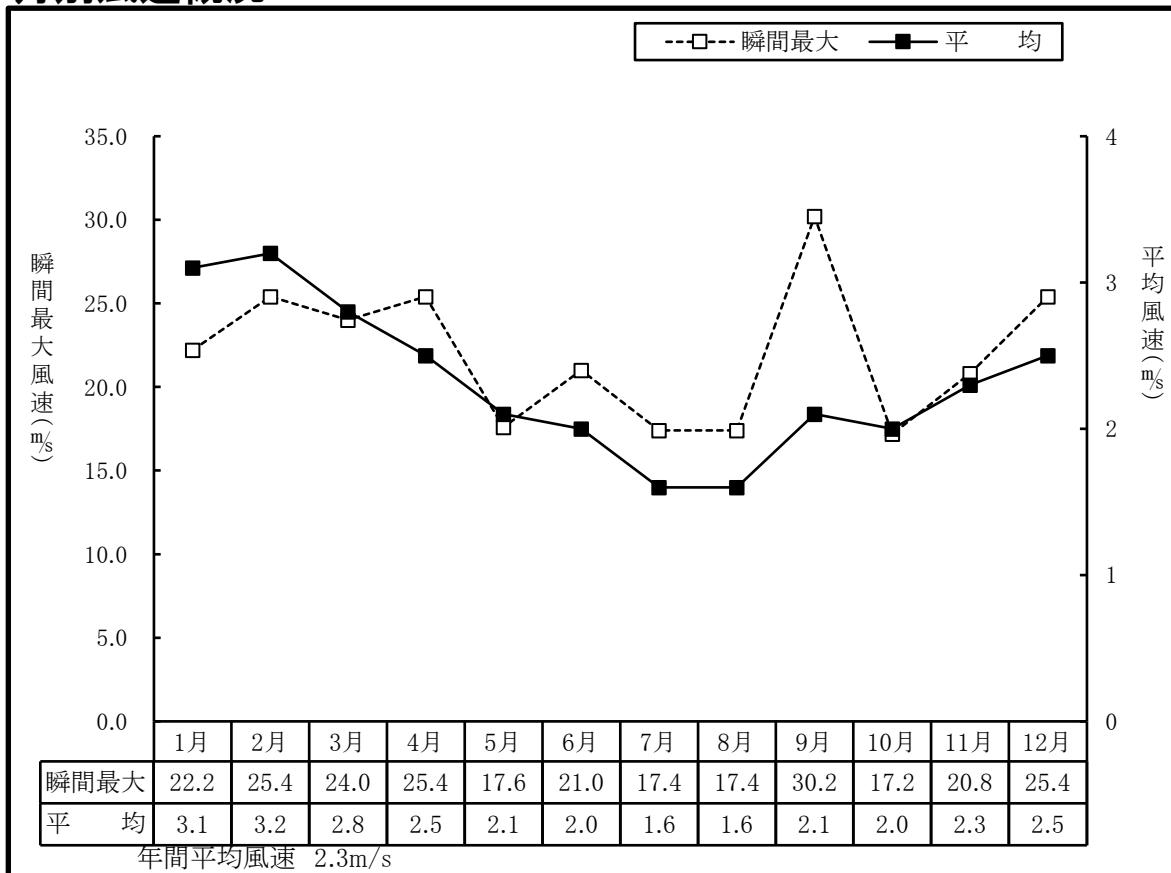
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

		月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	気象通報														
特 別 警 報	暴 風 特 別 警 報														
	暴 風 雪 特 別 警 報														
	大 雨 特 別 警 報														
	大 雪 特 別 警 報														
警 報	暴 風 警 報											1			1
	暴 風 雪 警 報														
	大 雨 警 報									2	1				3
	大 雪 警 報														
	洪 水 警 報									1					1
注 意 報	風 雪 注 意 報														
	強 風 注 意 報			1								3			4
	大 雨 注 意 報						1		3	7	3				14
	大 雪 注 意 報	3	3												6
	洪 水 注 意 報								1	2	1				4
	着 雪 注 意 報	1													1
	乾 燥 注 意 報			3	2										5
	濃 霧 注 意 報			1	3		4						1		9
	霜 注 意 報			13	1										14
	な だ れ 注 意 報														
	融 雪 注 意 報														
	低 温 注 意 報	2	2												4
	着 冰 注 意 報														
	雷 注 意 報	1		3	6	5	11	14	13	6	3	5	3		70
	竜 卷 注 意 情 報								5	2	3				10
	高 温 注 意 情 報							4	16	24	1				45
	火 灾 気 象 通 報			3	3						5				11
三 重 県 氣 象 情 報	雷と突風に関する情報	3			1		4		4			4	4		20
	雷と突風及び降ひょうに関する情報			2		2						2			6
	雷 に 関 す る 情 報												1	1	
	大 雪 に 関 す る 情 報	6	10										2	18	
	高 波 と 強 風 に 関 す る 情 報						2							2	
	大雨と雷及び突風に関する情報							10	3	2	3	2			20
	大 雨 と 高 波 に 関 す る 情 報				3		7								10
	発達する熱帯低気圧に関する情報									1	3				4
	大 雨 に 関 す る 情 報					5	1	18	19	14	1				58
	台 風 第 4 号 に 関 す る 情 報						2								2
	台 風 第 8 号 に 関 す る 情 報								5						5
	台 風 第 14 号 に 関 す る 情 報								11						11
	台 風 第 15 号 に 関 す る 情 報									5					5
	記 録 的 短 時 間 大 雨 情 報														
	土 砂 災 害 警 戒 情 報														

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。

注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注4) 土砂災害警戒情報は、菰野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	合計
菰野町	24	1,742	34	27	1	190	194	176	11	2,399
四日市市	145	16,692 【1】	111	232	11	2,253	1,627	1,729	149	22,949 【1】
桑名市	174	10,459 （1）	43	167	5	1,208	999	1,007	88	14,150 （1）
合計	343	28,893 【1】（1）	188	426	17	3,651	2,820	2,912	248	39,498 【1】（1）

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	合計
1		148	4	3		10	6	5	1	177
2	1	140	1	1		12	11	11		177
3	11	124	1	2		14	24	20		196
4	1	128	2			15	26	12		184
5		121	2	1		8	14	13		159
6		131	6	1		11	15	12		176
7		184	2	4		20	13	31	1	255
8		156	4	2		19	14	19	4	218
9	2	138	4	4		14	24	10		196
10	1	142	2	1		19	18	15	1	199
11	8	154	2	1		25	19	18	3	230
12		176	4	7	1	23	10	10	1	232
合計	24	1,742	34	27	1	190	194	176	11	2,399

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	合計	
119	固定	4	224	1	2		23	167	12	2	435
	I P	4	532	3	3		16	13	26		597
	携帯	16	986	30	22	1	151	14	138	9	1,367
	FAX										
Net 119											
合計	24	1,742	34	27	1	190	194	176	11	2,399	

通報は重複通報含む。

災害件数の推移

区分年	火災(件)	救急(件)	救助(件)	人口(人)
昭和 60 年	11	308	3	31,099
昭和 61 年	23	442	3	31,546
昭和 62 年	15	434	7	31,949
昭和 63 年	15	497	9	32,218
平成元年	13	569	12	32,443
平成2年	9	595	6	32,942
平成3年	17	573	6	33,504
平成4年	13	558	8	33,902
平成5年	6	641	10	34,362
平成6年	15	684	10	35,137
平成7年	23	694	17	36,036
平成8年	30	779	11	36,801
平成9年	36	684	12	37,402
平成10年	18	705	19	37,785
平成11年	21	746	16	38,229
平成12年	18	895	23	38,713
平成13年	25	995	19	38,939
平成14年	21	1,018	9	39,074
平成15年	23	1,096	28	39,155
平成16年	12	1,091	29	39,494
平成17年	23	1,195	33	39,989
平成18年	20	1,187	21	40,274
平成19年	21	1,248	21	40,550
平成20年	19	1,266	23	40,784
平成21年	16	1,208	25	40,977
平成22年	15	1,242	32	41,025
平成23年	9	1,360	22	41,171
平成24年	17	1,396	24	41,311
平成25年	22	1,473	17	41,329
平成26年	19	1,451	19	41,419
平成27年	12	1,433	32	41,540
平成28年	14	1,452	36	41,803
平成29年	20	1,480	39	41,820
平成30年	13	1,607	34	41,738
令和元年	8	1,598	31	41,610
令和2年	10	1,349	36	41,670
令和3年	14	1,458	29	41,390
令和4年	13	1,777	50	41,819

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

令和5年版
消防年報

発行日 令和5年8月
編集・発行 萩野町消防本部
〒510-1253
三重県三重郡萩野町大字潤田4418番地
電話 (059) 394-3211
FAX (059) 394-5766
E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp